

令和6年度

「基礎学力調査」

— 結果の概要 —

令和6年7月
石川県教育委員会

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の対象等	1
(1) 児童生徒に対する調査	
(2) 教員に対する調査	
3 調査の日時	2
[本書における留意事項]	3

II 調査結果

1 教科に関する調査結果	4
《小学校第4学年 国語》	4
《小学校第4学年 算数》	6
《小学校第6学年 社会》	8
《小学校第6学年 理科》	10
《小学校第6学年 英語》	12
《中学校第3学年 社会》	14
《中学校第3学年 理科》	16
《中学校第3学年 英語》	18
2 質問紙調査結果	20
《小学校第4学年》	20
《小学校第6学年》	24
《中学校第3学年》	26
《小学校教員》	28
《中学校教員》	30

I 調査の概要

1 調査の目的

児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況、及び学習・生活状況について把握・分析し、学校における児童生徒への指導の改善を図る。併せて、教員の指導状況等を把握し、指導改善に役立てる。

2 調査の対象等

(1) 児童生徒に対する調査

○ 教科に関する調査

全公立小・中学校（義務教育学校を含む）における次の学年の全児童生徒を対象に調査した。

ただし、調査の集計・分析については、各学校対象学年から無作為に1学級ずつを抽出して行った。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実 施 校 数	187 校	189 校	81 校
実施児童生徒数	8,319 人	8,507 人	8,335 人
対 象 教 科	国語・算数	社会・理科・英語	社会・理科・英語
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

○ 質問紙調査

教科に関する調査における集計・分析の抽出学級（各学校対象学年1学級）の児童生徒を対象に調査した。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
集計・分析対象者数	4,001 人	4,042 人	2,269 人
調 査 の 内 容	学習に対する意識や家庭学習、生活習慣などの状況等に関する内容		

(2) 教員に対する調査

○ 質問紙調査

抽出した小・中学校（義務教育学校を含む）における教員を対象に調査した。

区 分	小学校	中学校
実 施 校 数	66 校	30 校
実 施 教 員 数	1,085 人	657 人
調 査 の 内 容	授業における指導状況等に関する内容	

3 調査の日時

令和6年4月17日（水）

区 分	時限	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
教科に関する調査	1限	国語（40分）	社会（40分）	社会（45分）
	2限	算数（40分）	理科（40分）	理科（45分）
	3限		英語（30分）	英語（45分）
質 問 紙 調 査	提出日までに、各学校の状況に応じて実施			

到達状況について

正答率の状況により、児童生徒の到達状況を次のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号、用語
90%以上の場合	◎：良好である
80%以上～90%未満の場合	○：概ね良好である
70%以上～80%未満の場合	◇：基準に到達している
60%以上～70%未満の場合	▽：十分とはいえない
60%未満の場合	▼：不十分である

※ 正答率とは、全問題数に対する正答と準正答（内容的に正答に近く、概ね身に付けていると判断できる解答）を合計した数の割合のことをいう。

Ⅱ 調査結果

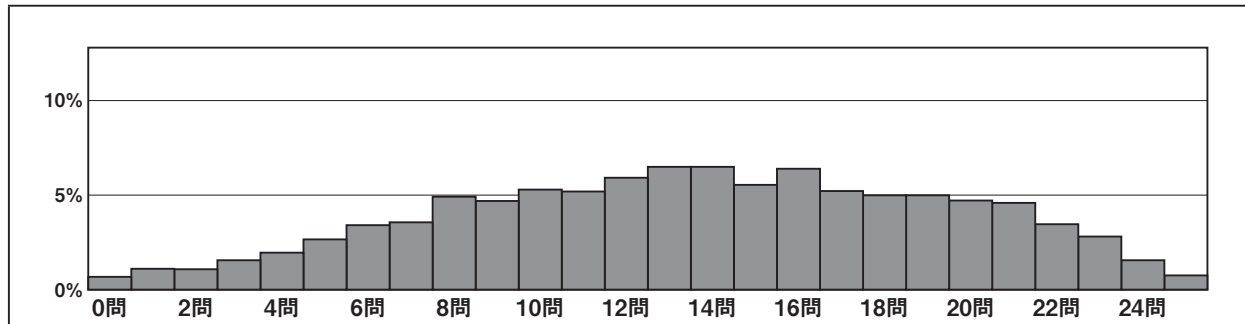
1 教科に関する調査結果

《小学校第4学年 国語》

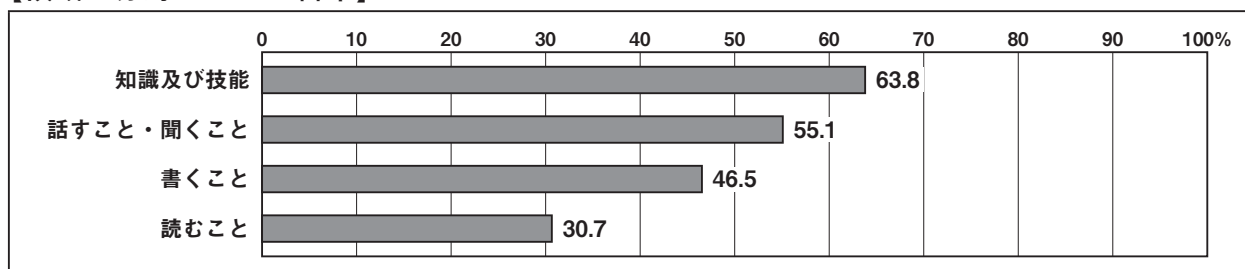
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
3,988人	54.3%	13.6問／25問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	7③ 漢字の読み (研究)	93.7
2	7④ 漢字の読み (重ねる)	90.7
3	7② 漢字の書き取り (ほそい)	87.4

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	2 3 考えの形成	24.1
2	3 1 指示語	26.4
3	1 3 問の取り方 (話すこと)	27.7

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	8 2 共有	24.0
2	2 3 考えの形成	23.7
3	8 1 構成の検討 (条件)、考えの形成、記述 (内容)、推敲 (表記)	19.9

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎：小学校3年生までに配当されている漢字を読むこと〔7③、④〕 ◇：日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読むこと〔5②、③〕 <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇：話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉え、自分の考えをもつこと〔1 4〕 ▽：目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと〔1 1〕 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▽：書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくること〔8 1条件〕 ▼：書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること〔8 2〕 <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼：目的を意識して、中心となる語や文を見付けること〔2 1①、②〕 ▼：文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと〔2 3〕
--

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（国語）

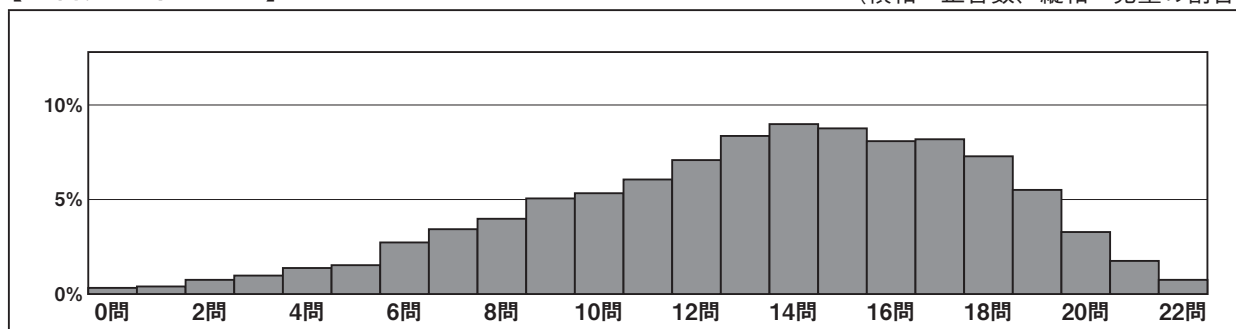
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合（％）				
			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	話すこと 聞くこと	内容の検討（話すこと）	○			62.9	62.9	0.0	34.3	2.8
		話の構成（話すこと）	○			59.7	59.7	0.0	37.6	2.8
		問の取り方（話すこと）	○			27.7	25.9	1.8	58.4	13.9
		話の中心（聞くこと）	○			70.0	70.0	0.0	23.3	6.6
2	読むこと	1① 説明的文章の精査・解釈	○			30.3	28.0	2.3	54.7	14.9
		1② 説明的文章の精査・解釈	○			29.6	26.4	3.2	54.1	16.3
		2 説明的文章の構造と内容の把握	○			38.6	38.6	0.0	49.1	12.2
		3 考えの形成	○			24.1	24.1	0.0	52.2	23.7
3	知識及び技能	1 指示語	○			26.4	26.4	0.0	57.8	15.8
		2 主語と述語との関係	○			42.1	39.8	2.3	41.0	16.9
		3(1) 国語辞典の使い方	○			55.0	55.0	0.0	26.2	18.8
		3(2) 語彙	○			50.3	50.3	0.0	38.1	11.6
4	知識及び技能	修飾と被修飾との関係	○			52.3	52.3	0.0	36.2	11.5
5	知識及び技能	① ローマ字の書き（えだ）	○			51.2	51.2	0.0	42.0	6.9
		② ローマ字の読み（hikkosi）	○			79.7	79.7	0.0	10.5	9.8
		③ ローマ字の読み（akusyu）	○			78.6	78.6	0.0	12.4	9.0
6	知識及び技能	筆順（方）	○			62.2	62.2	0.0	30.6	7.2
7	知識及び技能	① 漢字の書き取り（むぎちゃ）	○			59.9	59.9	0.0	34.7	5.5
		② 漢字の書き取り（ほそい）	○			87.4	87.4	0.0	7.4	5.2
		③ 漢字の読み（研究）	○			93.7	93.7	0.1	3.0	3.2
		④ 漢字の読み（重ねる）	○			90.7	88.8	1.9	5.4	3.9
8	書くこと	1条件 構成の検討（条件）	○			64.6	61.7	2.9	15.5	19.9
		1内容 考えの形成、記述（内容）	○			45.5	45.5	0.0	34.6	19.9
		1表記 推敲（表記）	○			34.2	15.8	18.4	45.9	19.9
		2 共有	○			41.8	41.8	0.0	34.2	24.0

《小学校第4学年 算数》

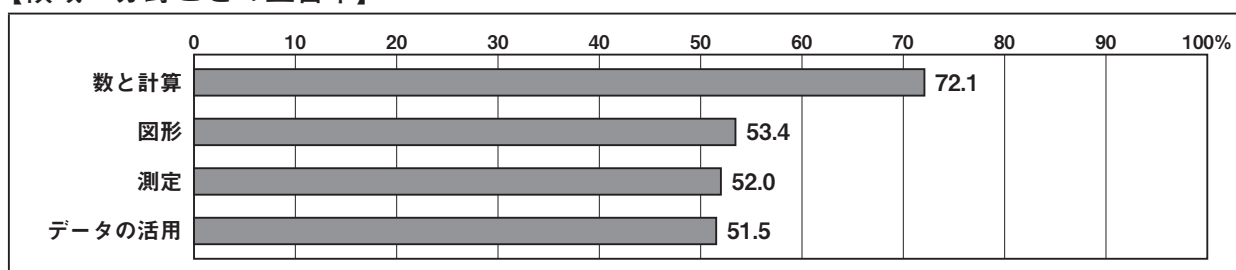
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
3,994人	60.5%	13.3問／22問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1(1) 繰り上がりのある加法計算	90.1
2	1(3) 余りのある除法計算	87.4
3	2(3) 箱、筒、ボールの形の弁別	85.8

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	8(2) グラフの読み取りを根拠とした正しくない理由の説明【理由】	18.5
2	4(1) 二等辺三角形の定義と円の性質	27.5
3	2(4) 長方形の定義	39.2

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	8(2) グラフの読み取りを根拠とした正しくない理由の説明【理由】	17.3
2	4(1) 二等辺三角形の定義と円の性質	8.5
3	8(1) 棒グラフの読み取り	6.9

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【数と計算】

- ：整数や小数の四則計算をすること〔1〕
- ▽：乗法の意味を理解すること〔2(1)〕

【図形】

- ：形の機能的な性質を理解すること〔2(3)〕
- ▼：円の半径と三角形の等しい辺を関連付けて考えること〔4(1)〕

【測定】

- ◇：必要な情報を用いて、指定された長さを求めること〔3(1)〕
- ▼：時間の適切な単位を用いて、時間の経過を捉えて考えること〔3(2)〕

【データの活用】

- ▽：目的に応じて、適切なグラフを選択し、条件に合う項目を選ぶこと〔8(1)〕
- ▼：棒グラフからデータの特徴を捉えたことを根拠に、正しくない理由を説明すること〔8(2)〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（算数）

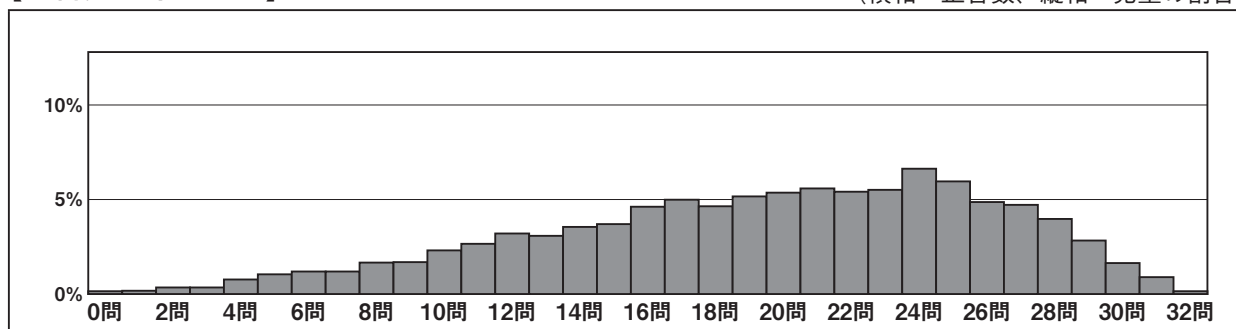
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合（％）				
			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	正答率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	数と計算	繰り上がりのある加法計算	○			90.1	90.1	0.0	9.7	0.3
		波及的繰り下がりのある減法計算	○			83.4	83.4	0.0	15.9	0.8
		余りのある除法計算	○			87.4	87.4	0.0	11.2	1.3
		3位数×2位数	○			69.5	69.5	0.0	28.1	2.4
		小数+整数	○			78.0	78.0	0.0	20.4	1.6
2	数と計算	乗法の意味	○			64.0	64.0	0.0	35.1	1.0
		数直線上に表した分数	○			55.2	55.2	0.0	41.2	3.6
	図形	箱、筒、ボールの形の弁別	○			85.8	85.5	0.3	12.5	1.7
		長方形の定義	○			39.2	39.2	0.0	59.4	1.4
	測定	かさの適切な単位	○			40.9	40.8	0.1	58.0	1.1
		全体・容器・正味の重さの関係	○			41.3	41.3	0.0	57.0	1.7
3	測定	長さの単位換算と測定	○			78.7	78.7	0.0	19.9	1.5
		正時をまたいだ時間の求め方		○		47.1	47.1	0.0	49.5	3.4
4	図形	二等辺三角形の定義と円の性質	○			27.5	27.5	0.0	64.0	8.5
		正三角形の定義と円の直径		○		63.4	63.4	0.0	32.6	4.0
5	データの活用	簡単な二次元表の読み取り	○			80.5	80.5	0.0	17.1	2.4
		簡単な二次元表の数値の意味【事実】		○		40.1	36.2	3.9	54.1	5.8
6	図形	立方体の辺の数と頂点の数	○			51.4	51.4	0.0	46.3	2.3
7	数と計算	示された計算の仕方の適用【方法】		○		58.9	58.8	0.2	35.1	6.0
		□を用いた式		○		62.3	62.3	0.0	30.8	6.9
8	データの活用	棒グラフの読み取り		○		67.0	67.0	0.0	26.0	6.9
		グラフの読み取りを根拠とした正しくない理由の説明【理由】		○		18.5	11.7	6.8	64.2	17.3

《小学校第6学年 社会》

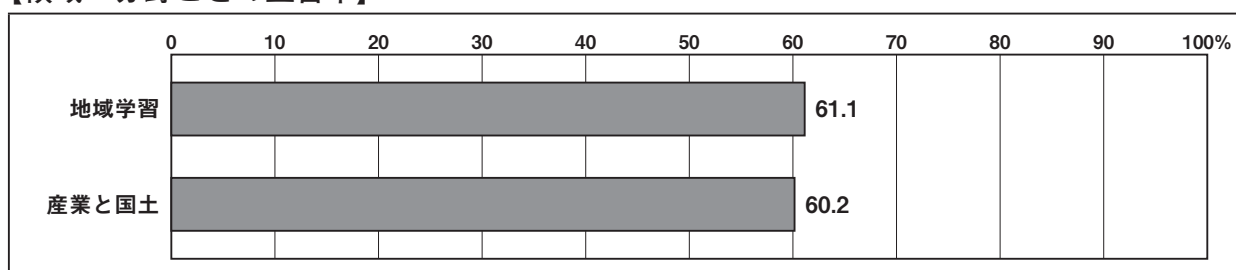
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,028人	60.6%	19.4問／32問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1(1)③ 石川県の市名 (金沢市)	93.3
2	5(1) 食料品の種類 (水産物)	89.7
3	3(1)② 消費者の願いと販売の工夫 (大きさ)	84.9

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	2(3) 日本の位置と領土 (東端の経度)	15.5
2	6(3) 地域の人たちの組織 (消防団)	22.8
3	4(3) B 日本の林業における課題と取組	33.4

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	6(3) 地域の人たちの組織 (消防団)	37.1
2	5(4)③ E 水産業の工夫 (資源保護)	28.1
3	6(2) 関係機関との連携 (病院への連絡)	22.1

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【地域学習】

- ：石川県全体の地形や交通の様子などを理解すること〔1(1)①、②、③〕
- ：消費者の多様な願いを踏まえた販売の工夫について理解すること〔3(1)①、②〕
- ▼：実際の距離や位置について、地図帳から、読み取ること〔1(2)〕
- ▼：販売の仕事の工夫について、資料を基に考察し、適切に表現すること〔3(2)、(3)〕

【産業と国土】

- ◇：石川県の工業の特色について、資料から、必要な情報を読み取ること〔1(4)〕
- ◇：水産資源を増やす工夫について、資料から、必要な情報を読み取ること〔5(4)② D〕
- ▼：世界における我が国の位置と領土について、地図帳から、読み取ること〔2(3)、(4)〕
- ▼：日本の林業について、資料を基に考察し、適切に表現すること〔4(3) A、B〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（社会）

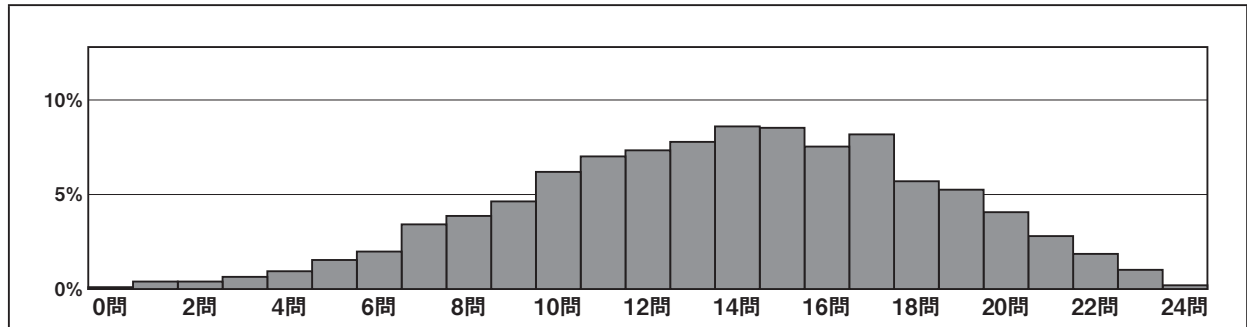
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）				
			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度		正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	地域学習	(1)①	石川県の自然（手取川）	○			81.9	81.9	0.0	14.2	3.8
		(1)②	石川県の交通（のと里山空港）	○			78.6	78.6	0.0	14.6	6.8
		(1)③	石川県の市名（金沢市）	○			93.3	93.3	0.0	5.0	1.6
		(2)	縮尺の活用	○			34.2	34.2	0.0	56.2	9.6
		(3)	石川県の地形や土地の様子	○			62.9	62.9	0.0	35.9	1.2
	産業と国土	(4)	石川県の工業の特色	○			70.9	15.6	55.2	25.3	3.8
		(5)C	石川県の冬の気候の特色		○		64.8	58.1	6.7	26.9	8.3
2	産業と国土	(1)①	日本の位置と領土（ユーラシア大陸の東側）	○			67.7	67.7	0.0	29.0	3.3
		(1)②	日本の位置と領土（オホーツク海）	○			65.0	65.0	0.0	30.1	5.0
		(1)③	日本の位置と領土（沖ノ鳥島）	○			84.7	84.7	0.0	11.9	3.4
		(2)A	日本の位置と領土（大韓民国）	○			73.8	73.8	0.0	23.8	2.4
		(3)	日本の位置と領土（東端の経度）	○			15.5	15.5	0.0	71.0	13.5
		(4)	日本の位置と領土（東京からおよそ2000km離れている都市）	○			59.0	58.2	0.8	36.3	4.6
3	地域学習	(1)①	消費者の願いと販売の工夫（管理）	○			81.4	81.4	0.0	16.1	2.5
		(1)②	消費者の願いと販売の工夫（大きさ）	○			84.9	84.9	0.0	11.5	3.6
		(2)	販売の仕事の工夫（出荷期間）		○		44.3	42.9	1.4	41.9	13.8
		(3)	販売の仕事の工夫（ごみの減量）		○		34.5	27.8	6.6	51.0	14.6
4	産業と国土	(1)	森林の働き		○		74.9	74.0	0.9	19.6	5.5
		(2)	森林の様子	○			59.4	59.4	0.0	37.7	2.9
		(3)A	日本の林業における課題と取組		○		53.5	50.0	3.5	32.7	13.9
		(3)B	日本の林業における課題と取組		○		33.4	31.8	1.6	46.7	19.8
5	産業と国土	(1)	食料品の種類（水産物）	○			89.7	89.6	0.1	5.9	4.4
		(2)	日本の水産業の特色	○			56.6	56.6	0.0	37.0	6.4
		(3)A	輸送の工夫（鮮度）		○		71.0	65.1	5.9	17.6	11.4
		(4)①B	漁業生産量の変化	○			49.9	49.9	0.0	38.1	12.0
		(4)②C	水産業の工夫（漁期の設定）		○		35.6	30.2	5.4	43.1	21.3
		(4)②D	水産業の工夫（栽培漁業）	○			75.2	75.2	0.0	6.9	17.8
		(4)③E	水産業の工夫（資源保護）		○		42.5	39.4	3.1	29.4	28.1
6	地域学習	(1)	消防署の電話番号	○			71.6	71.6	0.0	13.9	14.5
		(2)	関係機関との連携（病院への連絡）		○		34.6	15.7	18.9	43.2	22.1
		(3)	地域の人たちの組織（消防団）	○			22.8	22.8	0.0	40.1	37.1
		(4)	消防設備や避難場所の分布	○			69.7	69.7	0.0	10.3	20.0

《小学校第6学年 理科》

抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,034人	57.1%	13.7問／24問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】

領域・分野	正答率 (%)
「エネルギー」を柱とする領域	49.7
「粒子」を柱とする領域	59.1
「生命」を柱とする領域	57.9
「地球」を柱とする領域	62.3

【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率 (%)
1	6(2) 物と重さの関係	93.3
2	4(3) 日光による物の暖かさの変化	85.8
3	1(1) 体の曲がる場所	84.9

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率 (%)
1	6(3) 物の体積と重さとの関係【分析】	20.3
2	3(3) 電流の向きや大きさを調べる器具	20.6
3	7(1)② 学習課題に正対したまとめの吟味【検討・改善】	29.7

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率 (%)
1	4(2) 日光による物の暖かさの変化についての考察【分析】	9.3
2	3(3) 電流の向きや大きさを調べる器具	7.8
3	7(1)② 学習課題に正対したまとめの吟味【検討・改善】	7.8

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

<p>[[エネルギー]を柱とする領域]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼：電流の向きや大きさを測定する器具（検流計）の名称を理解すること〔3(3)〕 ▼：日光は直進することを理解すること〔4(1)〕 <p>[[粒子]を柱とする領域]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇：水の温度によって溶ける量の変化が大きい物と変化が小さい物があることを理解すること〔7(2)〕 ▼：異なる物で重さを一定にしたときの体積の違いについて考えること〔6(3)〕 <p>[[生命]を柱とする領域]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▽：顕微鏡の正しい扱い方を身に付けること〔5(2)〕 ▼：植物の発芽について、条件を制御しながら観察、実験を行うこと〔5(1)〕 <p>[[地球]を柱とする領域]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇：温度計を用いて、気温を適切に測る方法を身に付けること〔8(1)〕 ▼：水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解すること〔8(3)〕
--

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（理科）

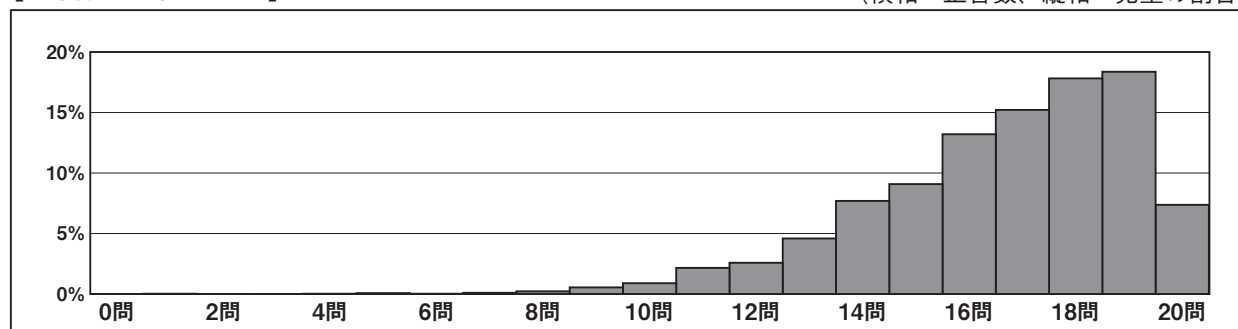
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合（％）				
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率	正答	準正答	誤答	無解答
1	「生命」 を柱とする領域	体の曲がる場所	○			84.9	84.9	0.0	12.5	2.6
		体の動く仕組み【分析】		○		51.8	51.8	0.0	47.9	0.3
2	「地球」 を柱とする領域	方位を調べる器具	○			74.6	74.6	0.0	24.1	1.3
		予想が確かめられた場合に得られる結果の見通し【構想】		○		53.2	53.2	0.0	46.5	0.3
3	「エネルギー」 を柱とする領域	乾電池のつなぎ方	○			50.1	50.1	0.0	47.8	2.0
		電流の向きや大きさの考察【分析】		○		45.5	45.5	0.0	54.3	0.3
		電流の向きや大きさを調べる器具	○			20.6	20.6	0.0	71.6	7.8
4	「エネルギー」 を柱とする領域	光の進み方	○			47.0	43.1	3.9	48.6	4.5
		日光による物の暖かさの変化についての考察【分析】		○		49.1	24.1	25.0	41.6	9.3
		日光による物の暖かさの変化	○			85.8	85.8	0.0	13.2	1.0
5	「生命」 を柱とする領域	植物の発芽に関する条件制御をふまえた実験方法	○			39.3	39.3	0.0	60.4	0.3
		顕微鏡の適切な操作	○			61.7	61.7	0.0	37.5	0.8
		植物の受粉	○			50.6	48.5	2.1	43.0	6.4
		昆虫のからだのつくり	○			59.4	59.4	0.0	39.0	1.5
6	「粒子」 を柱とする領域	電子てんびんの適切な操作	○			73.0	68.6	4.4	21.9	5.1
		物と重さの関係	○			93.3	93.3	0.0	6.2	0.5
		物の体積と重さとの関係【分析】		○		20.3	20.3	0.0	79.1	0.6
7	「粒子」 を柱とする領域	メスシリンダーの適切な操作	○			67.5	67.5	0.0	31.3	1.3
		学習課題に正対したまとめの吟味【検討・改善】		○		29.7	28.9	0.8	62.5	7.8
		水の温度による物の溶け方	○			72.4	72.4	0.0	25.9	1.7
		水に溶けた物の取り出し方の構想【構想】		○		57.8	57.8	0.0	41.0	1.3
8	「地球」 を柱とする領域	気温の適切な測り方	○			72.2	72.2	0.0	26.5	1.3
		天気の様子と気温との関係	○			53.6	45.5	8.1	44.3	2.1
		水のしみ込み方と土の粒の大きさとの関係	○			57.9	57.6	0.3	40.4	1.7

《小学校第6学年 英語》

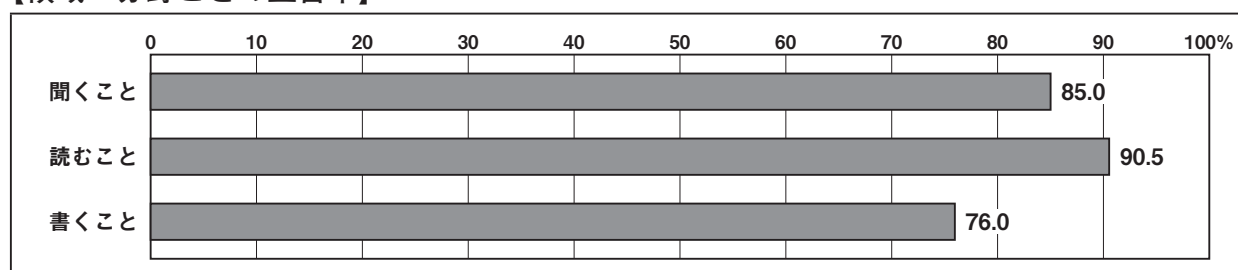
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,029人	83.1%	16.6問／20問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	2(2) 家事のお手伝いの聞き取り	99.4
2	2(1) 今の気分の聞き取り	99.2
3	1(1) 自己紹介の聞き取り (好きな動物)	99.2

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	7(1) アルファベットの大文字を書くこと (D)	33.0
2	3 物の場所の聞き取り	54.5
3	4(2) 将来の夢について理由の聞き取り	55.1

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	4(2) 将来の夢について理由の聞き取り	11.2
2	4(1) 将来の夢の聞き取り	3.9
3	7(2) アルファベットの小文字を書くこと (j)	1.1

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

[聞くこと]

- ◎：身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話を聞いて、必要な情報を得ること〔5(2)〕
- ◎：身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される説明を聞いて、必要な情報を得ること〔6〕
- ▼：将来の夢に関するまとまりのある英語を聞いて、必要な情報を聞き取ること〔4(2)〕

[読むこと]

- ◎：日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とするものを読んで、意味を理解すること〔9(2)〕
- ◎：日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とするものを読んで、自分が必要とする情報を得ること〔10〕

[書くこと]

- ◎：相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、簡単な語句を書き写すこと〔8〕
- ▼：文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書くこと〔7〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（英語）

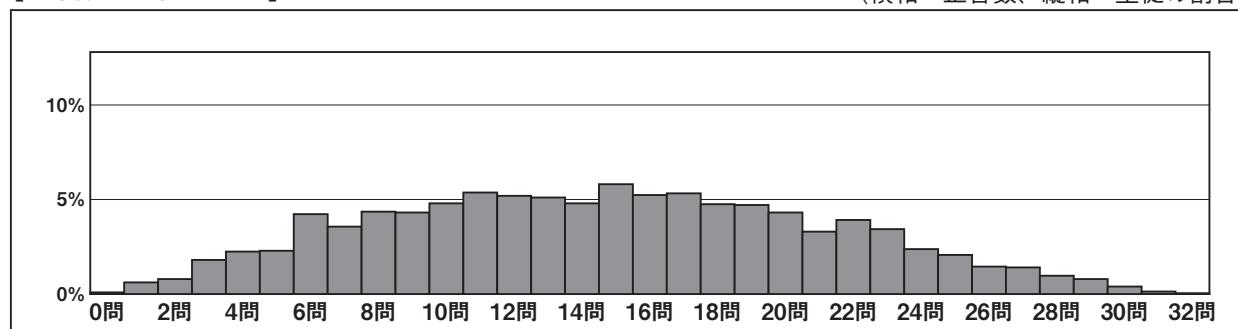
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合（％）				
			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	聞くこと	自己紹介の聞き取り（好きな動物）	○			99.2	99.2	0.0	0.7	0.1
		自己紹介の聞き取り（好きな野菜）	○			98.3	98.2	0.0	1.7	0.1
		自己紹介の聞き取り（得意なこと）	○			99.0	98.9	0.0	0.9	0.1
2	聞くこと	今の気分の聞き取り	○			99.2	99.2	0.0	0.7	0.0
		家事のお手伝いの聞き取り	○			99.4	99.4	0.0	0.5	0.0
3	聞くこと	物の場所の聞き取り	○			54.5	54.5	0.0	45.4	0.1
4	聞くこと	将来の夢の聞き取り	○			63.8	63.8	0.0	32.3	3.9
		将来の夢について理由の聞き取り	○			55.1	33.4	21.7	33.8	11.2
5	聞くこと	誕生日カードについての聞き取り		○		78.5	78.5	0.0	21.4	0.1
		誕生日カードに追加するシールについての聞き取り		○		98.1	98.1	0.0	1.8	0.1
6	聞くこと	短い話を聞いて、その概要を捉えること		○		90.0	90.0	0.0	9.7	0.2
7	書くこと	アルファベットの大文字を書くこと（D）	○			33.0	33.0	0.0	66.5	0.5
		アルファベットの小文字を書くこと（j）	○			55.6	55.6	0.0	43.3	1.1
		アルファベットの小文字を書くこと（k）	○			77.3	77.3	0.0	21.7	1.0
8	書くこと	目的や場面、状況に応じて自分の誕生日を書くこと		○		95.9	90.8	5.1	3.6	0.5
		目的や場面、状況に応じて好きな色を書くこと		○		97.8	92.5	5.3	1.9	0.2
		目的や場面、状況に応じて好きな教科を書くこと		○		96.2	92.2	3.9	3.6	0.2
9	読むこと	基本的な表現を読んで意味を理解すること	○			87.4	87.4	0.0	12.0	0.6
		基本的な語句を読んで意味を理解すること	○			92.0	92.0	0.0	7.1	0.9
10	読むこと	自己紹介カードから自分が必要とする情報を得ること		○		92.2	92.2	0.0	7.2	0.5

《中学校第3学年 社会》

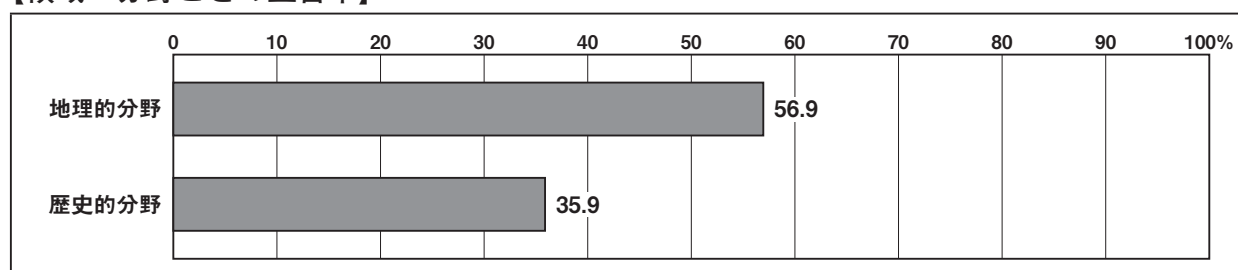
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,272人	45.8%	14.6問／32問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 (2)②	東南アジアの組織 (東南アジア諸国連合)	83.1
2 1(1)① B	三大洋 (大西洋)	78.7
3 1(1)① A	地域区分 (オセアニア州)	74.7

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 2(2)	遣唐使の航路変更の理由	9.3
2 5(4)	地租改正の目的	10.7
3 1(2)④	中国の経済格差	11.5

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1 3(5)①	歴史上の事象 (狂歌)	28.5
2 5(5)	歴史上の事象 (西南戦争)	23.7
3 5(4)	地租改正の目的	21.7

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【地理的分野】

- ：東南アジアの地域統合の名称について理解すること〔1(2)②〕
- ▽：インドに多いヒンドゥー教の人々の生活について、複数の資料を基に考察し、適切に表現すること〔1(2)③〕
- ▼：日本の領域や時差について理解すること〔4(2)②〕
- ▼：中国・四国地方の交通網の整備とその影響について、複数の資料を基に考察し、適切に表現すること〔4(3)④〕

【歴史的分野】

- ▽：古代の基礎・基本となる歴史的事象について理解すること〔2(1)、(3)〕
- ▼：古代における文化の特色について理解すること〔2(4)〕
- ▼：明治政府が地租改正を行った目的について、資料を基に考察し、適切に表現すること〔5(4)〕
- ▼：近代の基礎・基本となる歴史的事象について理解すること〔5(5)〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（社会）

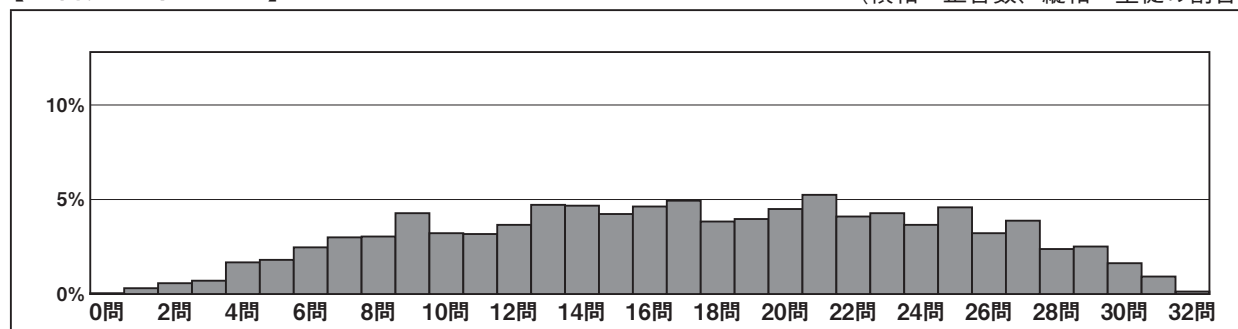
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合（％）					
			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答	
1	地理的分野	(1)①A	地域区分（オセアニア州）	○			74.7	74.7	0.0	23.3	2.0
		(1)①B	三大洋（大西洋）	○			78.7	78.7	0.0	20.0	1.4
		(1)②	赤道の位置	○			64.2	64.2	0.0	35.7	0.1
		(1)③	世界の気候の特色（温帯）	○			49.1	49.1	0.0	50.8	0.1
		(2)①	アジア州の農業（二期作）	○			56.4	56.4	0.0	36.0	7.6
		(2)②	東南アジアの組織（東南アジア諸国連合）	○			83.1	83.1	0.0	16.5	0.3
		(2)③	世界の宗教（ヒンドゥー教）		○		63.0	29.9	33.1	33.9	3.1
		(2)④	中国の経済格差		○		11.5	10.2	1.3	72.0	16.5
2	歴史的分野	(1)	歴史上の事象（十七条の憲法）	○			63.6	63.6	0.0	23.2	13.2
		(2)	遣唐使の航路変更の理由		○		9.3	2.5	6.8	70.3	20.3
		(3)	歴史上の事象（墾田永年私財法）	○			66.3	66.3	0.0	33.5	0.2
		(4)	古代における文化の特色（天平文化）	○			37.3	37.3	0.0	62.1	0.7
		(5)	歴史上の人物（桓武天皇）	○			28.9	28.9	0.0	55.6	15.4
3	歴史的分野	(1)	歴史上の事象（日安箱）	○			54.9	54.9	0.0	30.8	14.3
		(2)	歴史上の事象（株仲間）	○			58.0	58.0	0.0	27.9	14.1
		(3)	傘連判状が円形である理由		○		49.4	39.3	10.1	31.1	19.5
		(4)	歴史上の事象（享保の改革から天保の改革までの世界の主な出来事）	○			48.5	48.5	0.0	51.1	0.4
		(5)①	歴史上の事象（狂歌）	○			19.3	19.3	0.0	52.2	28.5
		(5)②	歴史上の人物（松平定信）	○			25.1	25.1	0.0	72.4	2.4
4	地理的分野	(1)	日本周辺の海流（日本海流・黒潮）	○			64.2	64.2	0.0	29.3	6.5
		(2)①	日本の標準時子午線の位置	○			74.3	74.3	0.0	25.3	0.4
		(2)②	日本の領域と時差	○			50.8	50.8	0.0	48.7	0.5
		(3)①	日本の主な平野（讃岐平野）	○			73.8	73.8	0.0	25.0	1.2
		(3)②	瀬戸内地方の気候の特色		○		18.9	1.4	17.6	71.5	9.6
		(3)③	瀬戸内工業地域の特色	○			45.8	45.8	0.0	53.4	0.8
		(3)④	中国・四国地方の交通網の整備とその影響		○		45.8	4.7	41.1	45.0	9.2
5	歴史的分野	(1)	歴史上の事象（日米修好通商条約）	○			16.9	16.9	0.0	82.4	0.7
		(2)	時代の流れ（並び替え）	○			25.0	25.0	0.0	73.1	1.8
		(3)	歴史上の事象（学制）	○			52.6	52.6	0.0	35.4	11.9
		(4)	地租改正の目的		○		10.7	1.9	8.8	67.6	21.7
		(5)	歴史上の事象（西南戦争）	○			31.4	31.4	0.0	44.9	23.7
		(6)	大日本帝国憲法とドイツ（プロイセン）憲法の共通点		○		12.5	3.5	9.1	67.7	19.7

《中学校第3学年 理科》

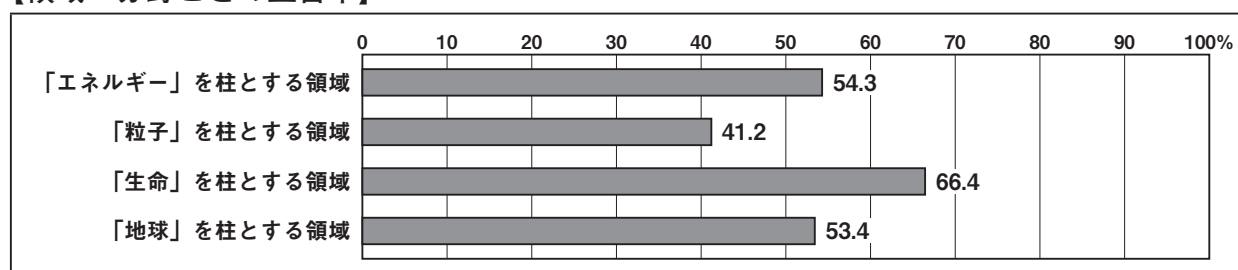
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,268人	53.8%	17.2問／32問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	8(1) 電気器具が消費する電力	89.4
2	2(2) 反射の名称	82.6
3	4(1)現象 光の屈折の名称	81.5

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	6(3) 流されたれき、砂、泥の堆積の様子	14.8
2	7(2) 酸化銅の還元実験での反応後の操作	15.3
3	3(3) 大気中の水蒸気が水滴に変化する理由【適用】	21.9

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	6(2)X 示相化石の名称	14.7
2	1(1)Y 胞子の名称	14.2
3	5(4) 蒸留の名称	13.8

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【「エネルギー」を柱とする領域】

- ：電気器具が消費する電力について理解すること〔8(1)〕
- ▼：複数の電気器具を使用するときの注意すべき内容を、電流の大きさと関連付けて考えること〔8(4)〕

【「粒子」を柱とする領域】

- ▼：水とエタノールの混合物を分離できる理由について、それぞれの物質の沸点と関連付けて考えること〔5(1)〕
- ▼：酸化銅の還元の実験において、反応後の適切な操作を理解すること〔7(2)〕

【「生命」を柱とする領域】

- ：反射について理解すること〔2(2)〕
- ▽：植物の特徴を比較し、分類の観点を考えること〔1(1)X〕

【「地球」を柱とする領域】

- ◇：示相化石が示す環境を理解すること〔6(2)Y〕
- ▼：流されたれき、砂、泥の堆積の様子について、粒の大きさと関連付けて考えること〔6(3)〕

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（理科）

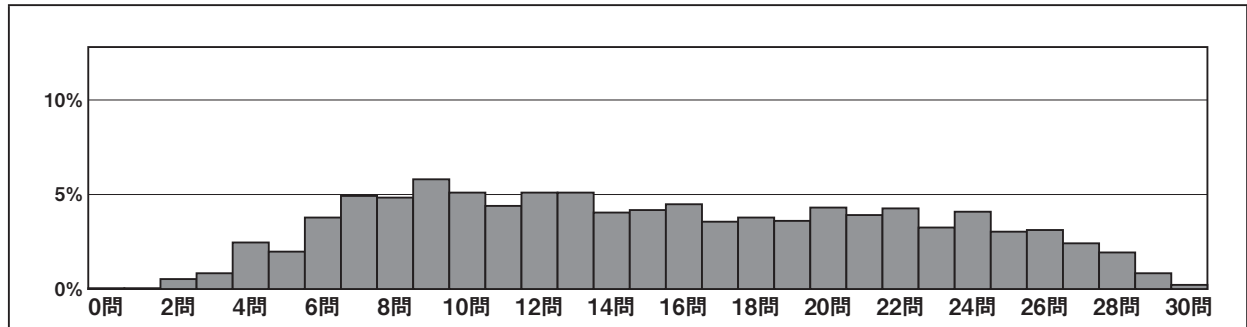
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合（％）				
			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	「生命」 を柱とする領域	植物の分類の観点		○		61.3	61.3	0.0	38.6	0.0
		胞子の名称	○			69.3	69.3	0.0	16.5	14.2
		単子葉類の根のつくり	○			69.4	69.4	0.0	28.4	2.2
		植物の分類		○		53.2	53.2	0.0	46.4	0.4
2	「生命」 を柱とする領域	感覚器官の名称	○			69.1	69.1	0.0	21.4	9.5
		反射の名称	○			82.6	82.6	0.0	11.7	5.6
		反射における刺激と反応の経路	○			62.7	62.7	0.0	37.1	0.1
		日常生活に見られる反射【適用】		○		63.8	63.8	0.0	36.0	0.1
3	「地球」 を柱とする領域	偏西風の名称	○			78.4	78.4	0.0	17.8	3.8
		寒冷前線の名称	○			65.0	65.0	0.0	29.7	5.3
		寒冷前線が通過する際の気温と天気の変化	○			62.2	62.2	0.0	37.0	0.8
		大気中の水蒸気が水滴に変化する理由【適用】		○		21.9	4.7	17.2	65.2	13.0
4	「エネルギー」 を柱とする領域	(1)現象	○			81.5	81.5	0.0	16.3	2.2
		(1)記号	○			48.7	48.7	0.0	50.5	0.7
		(2)	○			23.3	23.3	0.0	66.1	10.5
		(3)		○		53.3	53.3	0.0	42.8	4.0
5	「粒子」 を柱とする領域	蒸留の仕組み		○		31.6	31.6	0.0	58.8	9.6
		沸騰石を入れる理由	○			59.5	59.3	0.2	34.0	6.5
		混合物の温度変化	○			31.2	31.2	0.0	68.1	0.7
		蒸留の名称	○			49.1	49.1	0.0	37.2	13.8
6	「地球」 を柱とする領域	風化の名称	○			58.4	58.4	0.0	29.4	12.2
		示相化石の名称	○			51.3	51.3	0.0	34.0	14.7
		示相化石からの環境の推定	○			75.4	75.4	0.0	23.9	0.7
		流されたれき、砂、泥の堆積の様子		○		14.8	14.6	0.2	77.1	8.2
7	「粒子」 を柱とする領域	(1)モデル		○		31.9	31.9	0.0	61.1	7.0
		(1)化学反応式	○			42.0	42.0	0.0	50.9	7.1
		(2)	○			15.3	15.3	0.0	83.1	1.6
		(3)	○			69.1	69.1	0.0	29.8	1.1
8	「エネルギー」 を柱とする領域	電気器具が消費する電力	○			89.4	89.4	0.0	6.4	4.2
		電気器具に流れる電流	○			64.2	64.2	0.0	25.0	10.7
		電気器具に加わる電圧	○			45.0	45.0	0.0	53.5	1.5
		複数の電気器具に流れる電流【適用】		○		28.9	28.6	0.3	57.5	13.6

《中学校第3学年 英語》

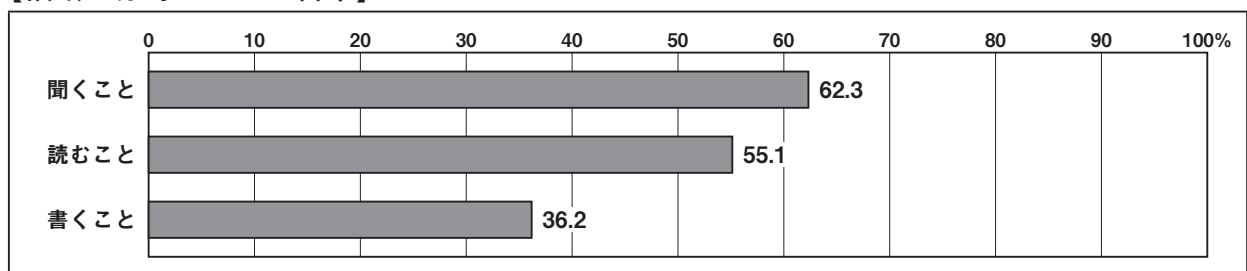
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,274人	51.0%	15.3問／30問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1 No.1 短い英文の内容(値段)の聞き取り	93.5
2	5(5) 言語の働き(考えや意図を伝える)に応じた英文の理解	79.6
3	3 No.3 話しかけ(How was it?)に応じること	76.5

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	11① 状況に合う英文(are good)への書きかえ	8.7
2	10(3) 話の内容や書き手の意見などの読み取り	13.0
3	6(3) 疑問詞を用いた一般動詞3人称現在時制の疑問文の理解	18.8

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	10(3) 話の内容や書き手の意見などの読み取り	37.0
2	4 No.2 情報を整理しながら必要な情報(遅れた場合)の聞き取り	29.8
3	11② 状況に合う英文(接続詞)への書きかえ	22.6

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【聞くこと】

◎：情報を正確に聞き取ること〔1 No.1〕

▼：目的に応じて英語を聞き、情報を整理しながら、必要な情報を聞き取ること〔4〕

【読むこと】

◇：簡単な文で書かれたものの内容を正確に読み取ること〔8〕

▼：まとまりのある文章を読んで、話の概要や要点、書き手の意見を適切に捉えること〔10〕

【書くこと】

▼：語句や文法の知識を活用して、場面や状況に応じて正しく書くこと〔6、11〕

▼：自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように、語と語、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと〔12〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（英語）

設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合（％）							
			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答			
1	No.1	聞くこと	短い英文の内容（値段）の聞き取り			○			93.5	93.5	0.0	6.5	0.0
	No.2		短い英文の内容（明日の予定）の聞き取り			○			62.2	62.2	0.0	37.7	0.0
2		聞くこと	英文の内容（天気予報）の聞き取り				○		56.5	56.5	0.0	43.3	0.2
3	No.1	聞くこと	話しかけ（Can you come?）に応じること			○			62.0	62.0	0.0	37.5	0.6
	No.2		話しかけ（Do you often come to this library?）に応じること			○			64.0	64.0	0.0	35.0	1.0
	No.3		話しかけ（How was it?）に応じること			○			76.5	76.5	0.0	22.8	0.7
4	No.1	聞くこと	情報を整理しながら必要な情報（集合時間）の聞き取り				○		64.8	64.8	0.0	30.5	4.7
	No.2		情報を整理しながら必要な情報（遅れた場合）の聞き取り				○		27.9	9.9	17.9	42.3	29.8
	No.3		情報を整理しながら必要な情報（持ち物）の聞き取り				○		53.5	53.5	0.0	36.3	10.2
5	(1)	読むこと	be 動詞の現在形を用いた英文の理解			○			37.5	37.5	0.0	62.4	0.1
	(2)		3人称単数現在形を用いた英文の理解			○			74.2	74.2	0.0	25.6	0.1
	(3)		人称代名詞（所有格）を用いた英文の理解			○			67.7	67.7	0.0	32.1	0.2
	(4)		言語の働き（相手の行動を促す）に応じた英文の理解			○			41.2	41.2	0.0	57.8	0.9
	(5)		言語の働き（考えや意図を伝える）に応じた英文の理解			○			79.6	79.6	0.0	19.8	0.6
	(6)		言語の働き（事実・情報を伝える）に応じた英文の理解			○			58.1	58.1	0.0	40.4	1.5
6	(1)	書くこと	疑問詞＋名詞を用いた一般動詞2人称現在時制の疑問文の理解			○			64.0	54.3	9.8	27.6	8.4
	(2)		一般動詞の1人称過去時制の肯定文の理解			○			44.5	44.5	0.0	45.0	10.5
	(3)		疑問詞を用いた一般動詞3人称現在時制の疑問文の理解			○			18.8	18.3	0.5	67.4	13.9
7	(1)	書くこと	言語の使用場面・働き（考えや意図を伝える）に応じた筆記				○		50.5	30.0	20.5	37.8	11.7
	(2)		言語の使用場面・働き（道案内・相手の行動を促す）に応じた筆記				○		48.8	21.3	27.5	37.0	14.2
	(3)		言語の使用場面・働き（相手の行動を促す）に応じた筆記				○		48.5	22.7	25.9	33.2	18.2
8		読むこと	簡単な文の正確な読み取り			○			74.6	74.6	0.0	24.4	1.0
9		読むこと	話のあらすじの読み取り				○		50.1	50.1	0.0	48.5	1.4
10	(1)	読むこと	まとまりのある文章の概要の読み取り				○		53.4	53.4	0.0	46.0	0.7
	(2)		書き手が最も伝えたい内容の読み取り				○		57.0	57.0	0.0	41.7	1.3
	(3)		話の内容や書き手の意見などの読み取り				○		13.0	3.5	9.5	50.0	37.0
11	①	書くこと	状況に合う英文（are good）への書きかえ			○			8.7	6.8	1.9	71.9	19.5
	②		状況に合う英文（接続詞）への書きかえ			○			19.0	15.7	3.3	58.4	22.6
	③		状況に合う英文（動名詞）への書きかえ			○			22.9	22.5	0.4	60.3	16.8
12		書くこと	まとまりのある英文を書くこと				○		36.1	7.1	28.9	49.2	14.8

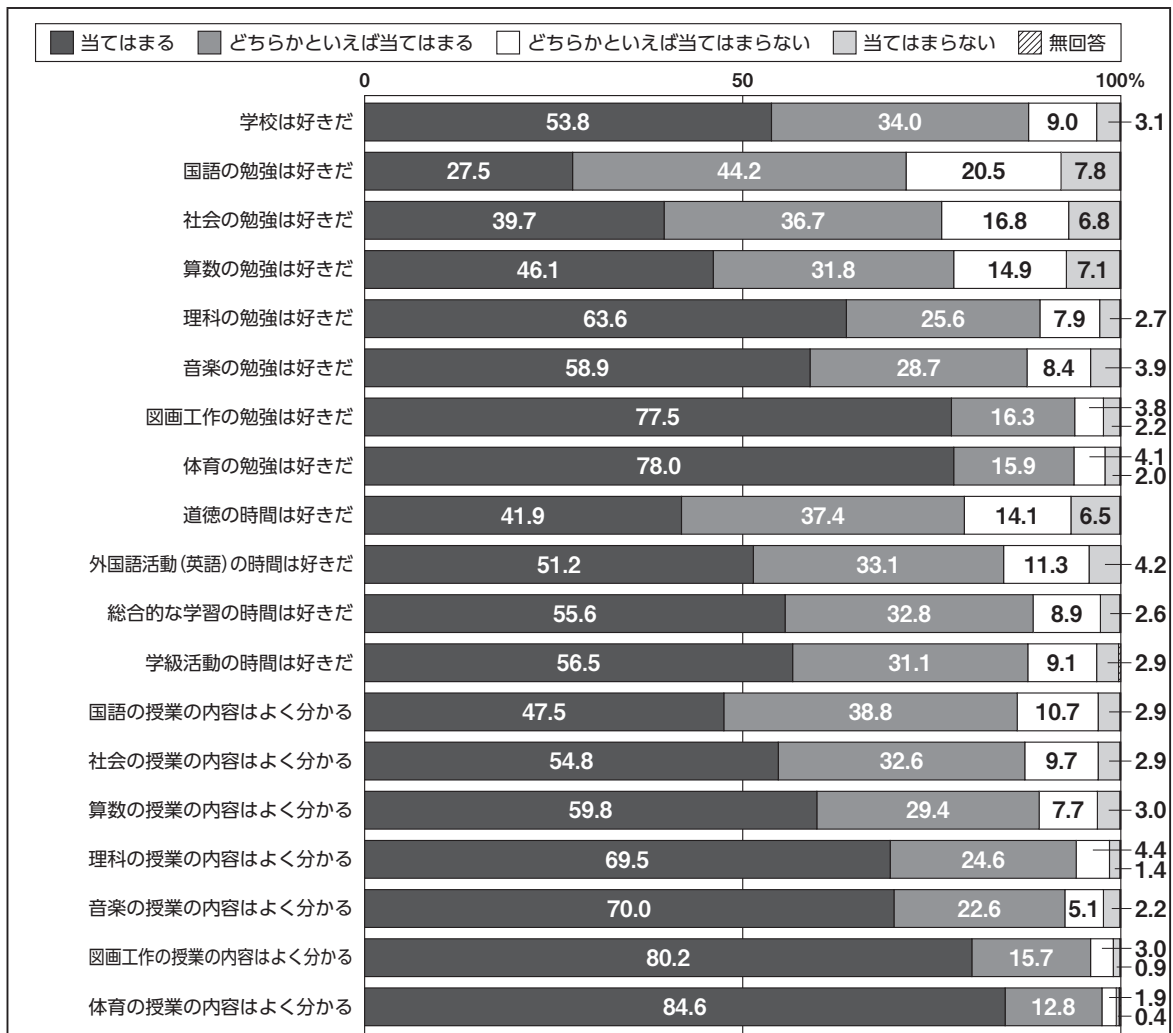
2 質問紙調査結果

※質問紙調査結果については、無回答の割合（数値）は表記していない。

《小学校第4学年》 学校数（児童数）：187校（4,001人）

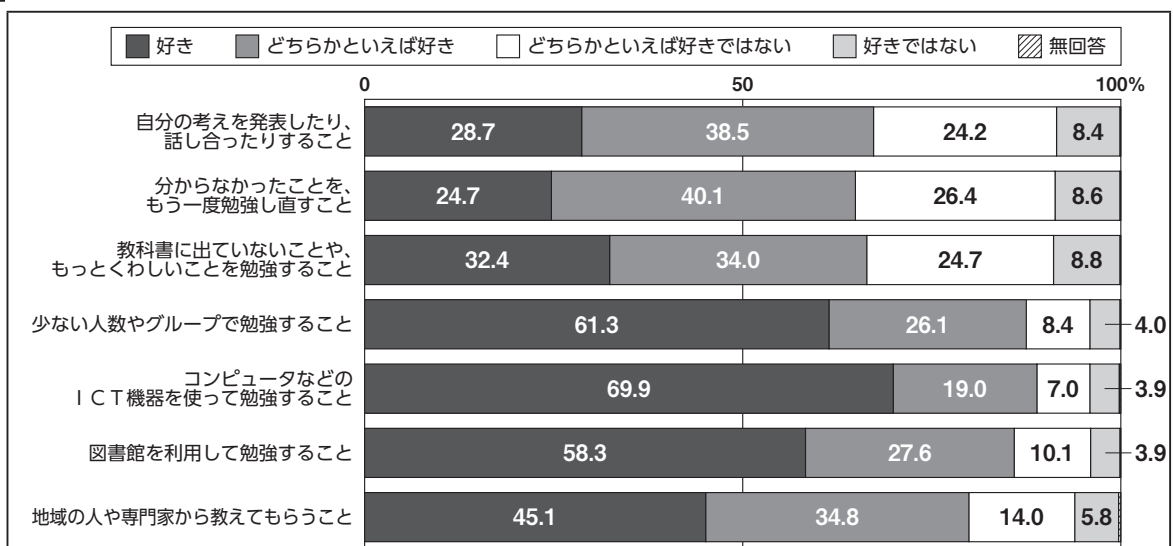
1

あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



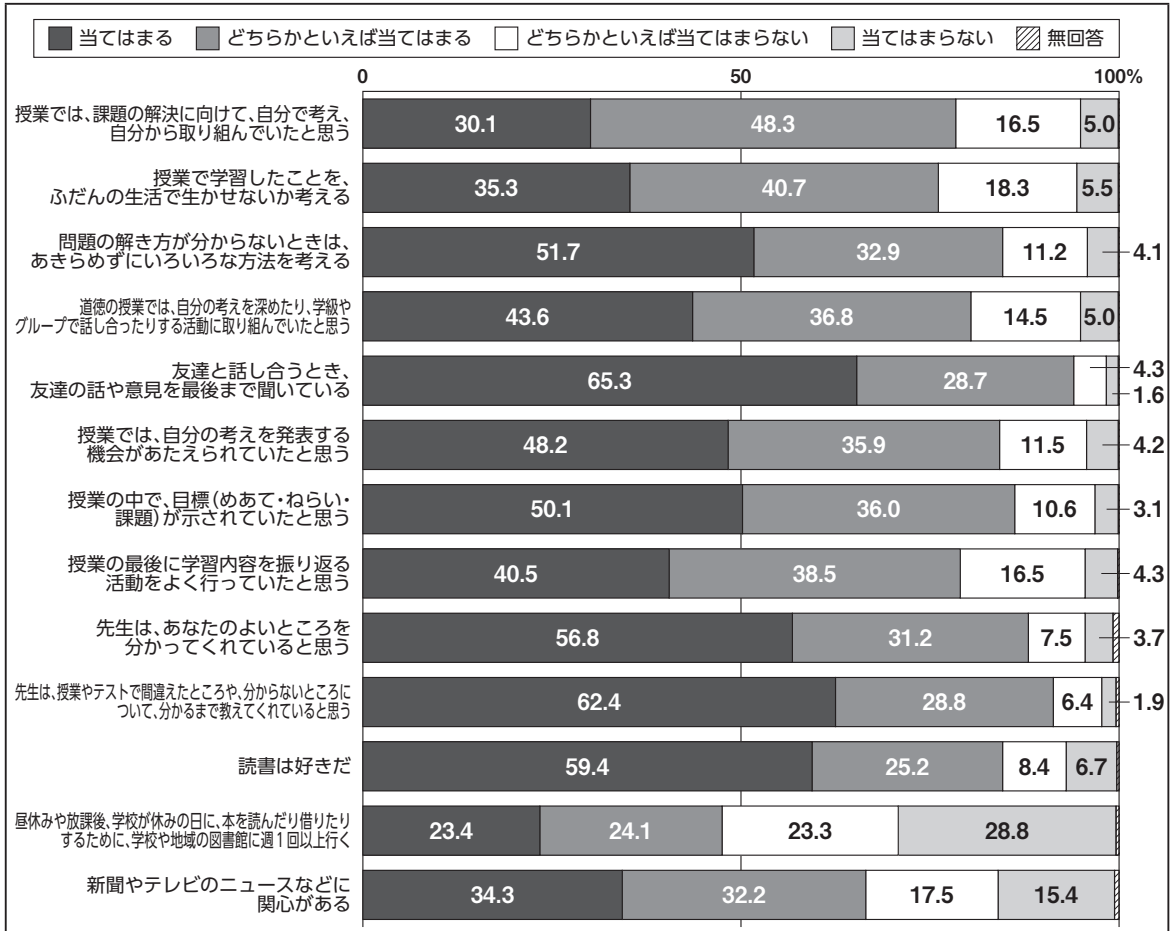
2

あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



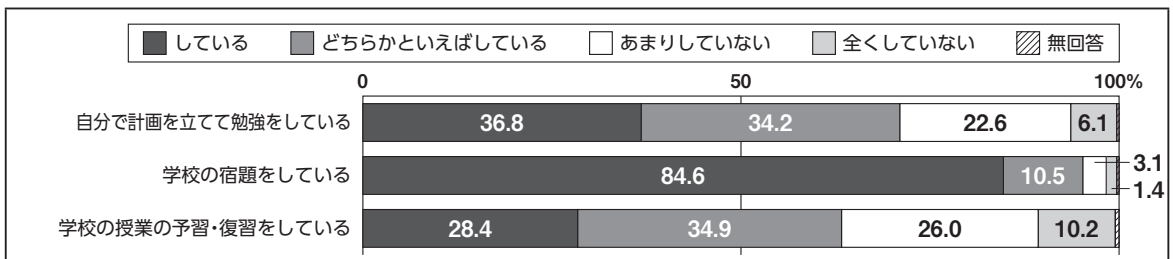
3

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。



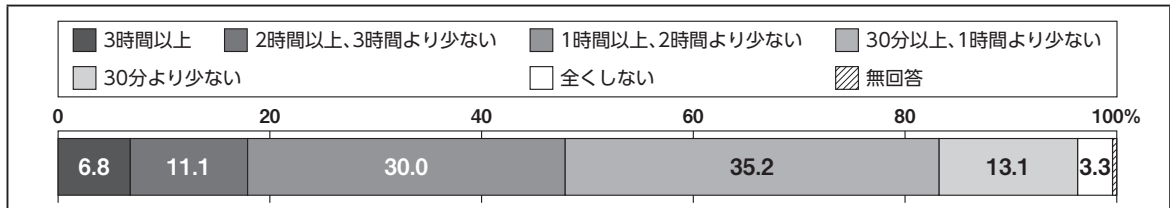
4

あなたは、家で次のようなことをしていますか。

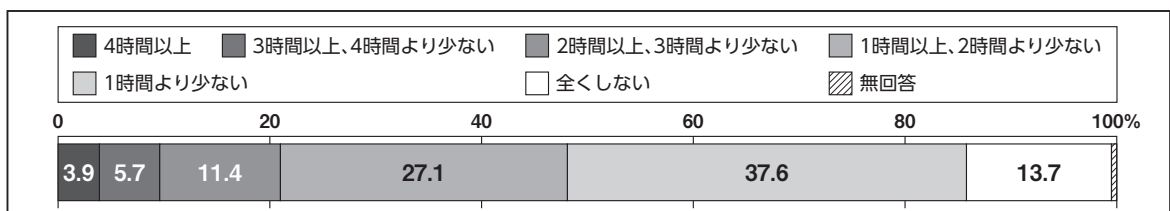


5

(1) あなたは、学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間もふくみます。）

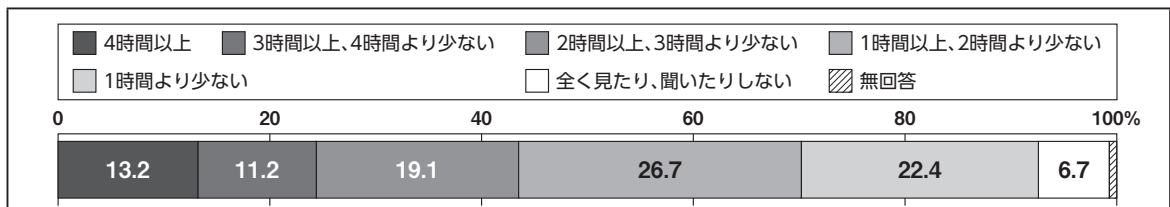


(2) あなたは、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間もふくみます。）

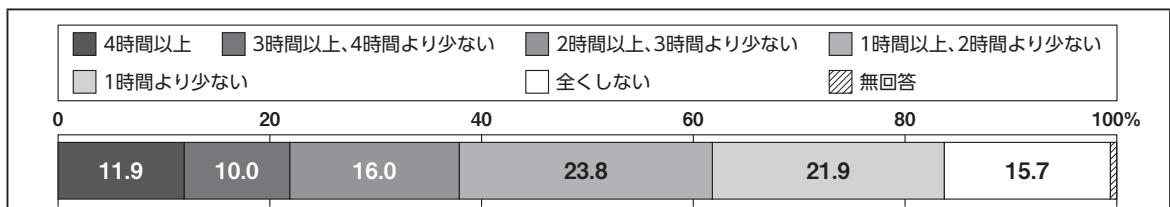


6

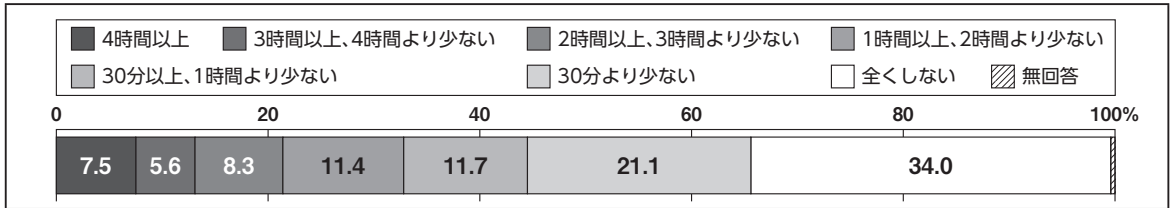
(1) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDなどを見たり、聞いたりしますか。（勉強のためのテレビやビデオ・DVDなどを見る時間、テレビゲームをする時間はのぞきます。）



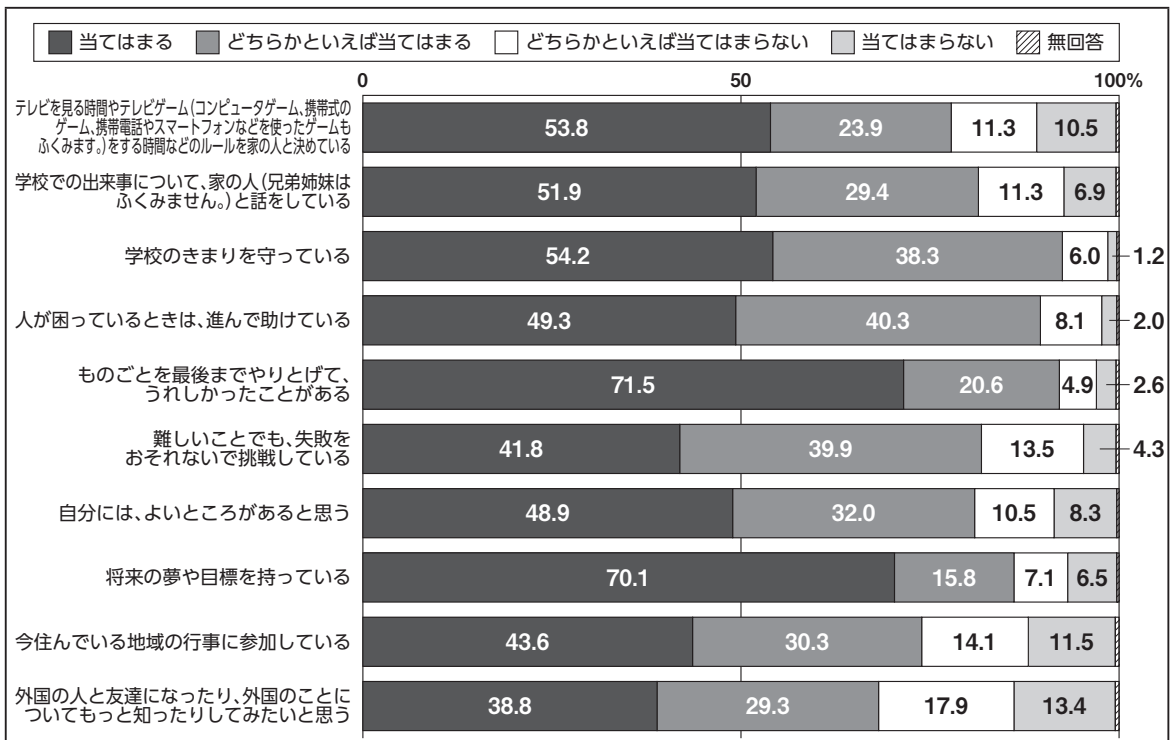
(2) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンなどを使ったゲームもふくみます。）をしますか。



(3) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンなどで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンなどを使ってゲームをする時間はのぞきます。）

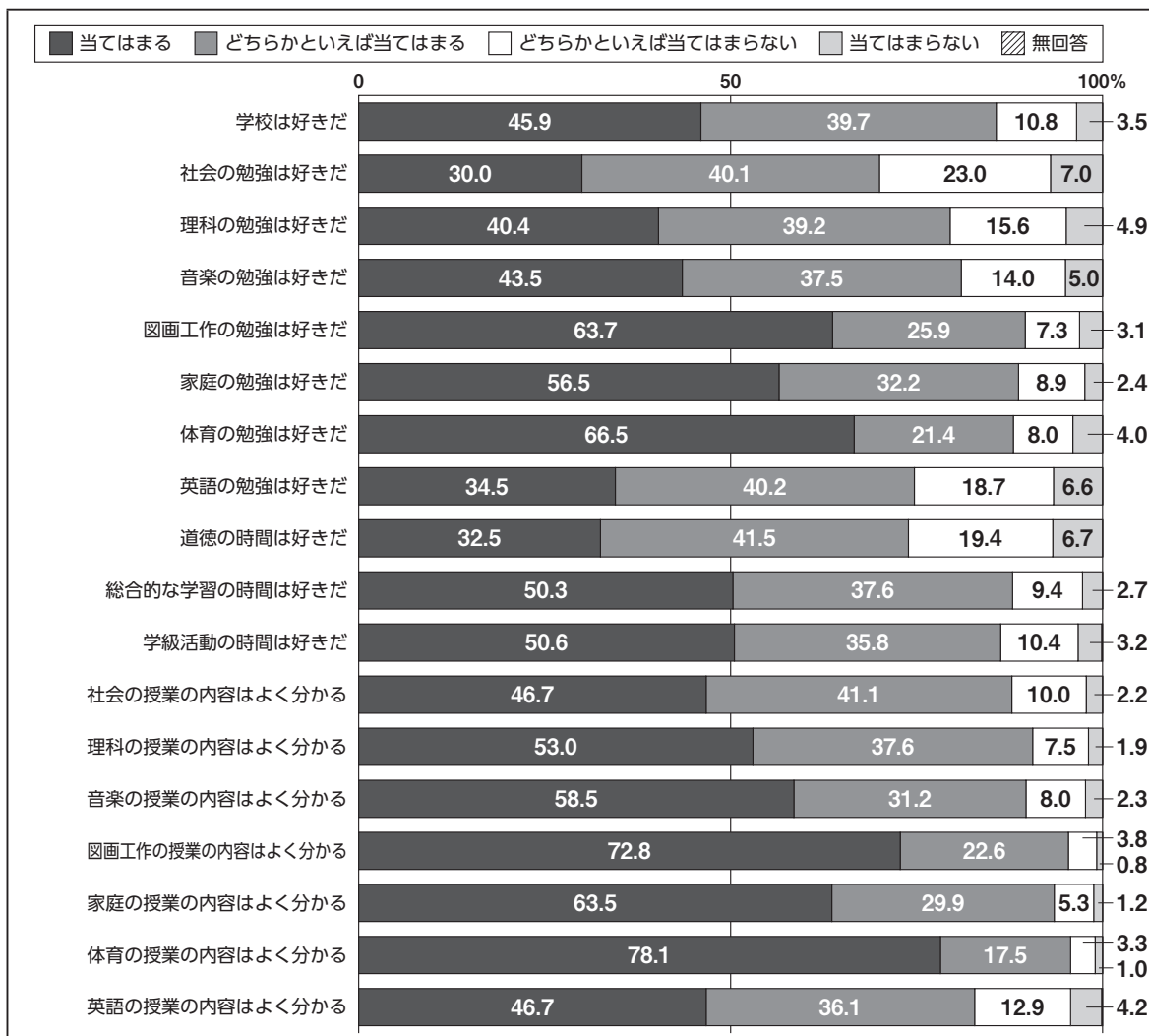


7 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。

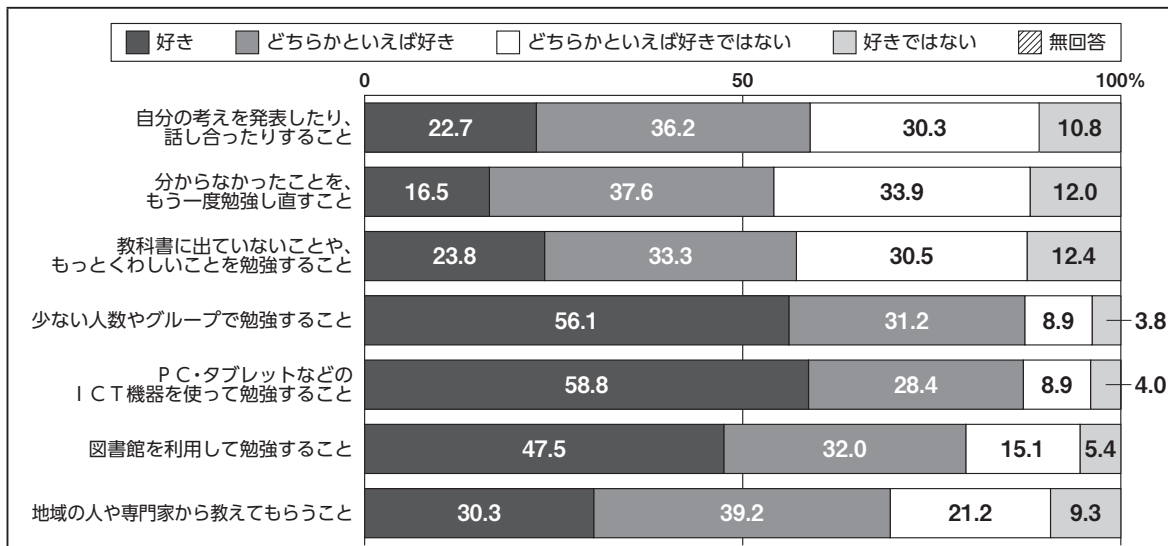


《小学校第6学年》 学校数（児童数）：189校（4,042人）

1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。

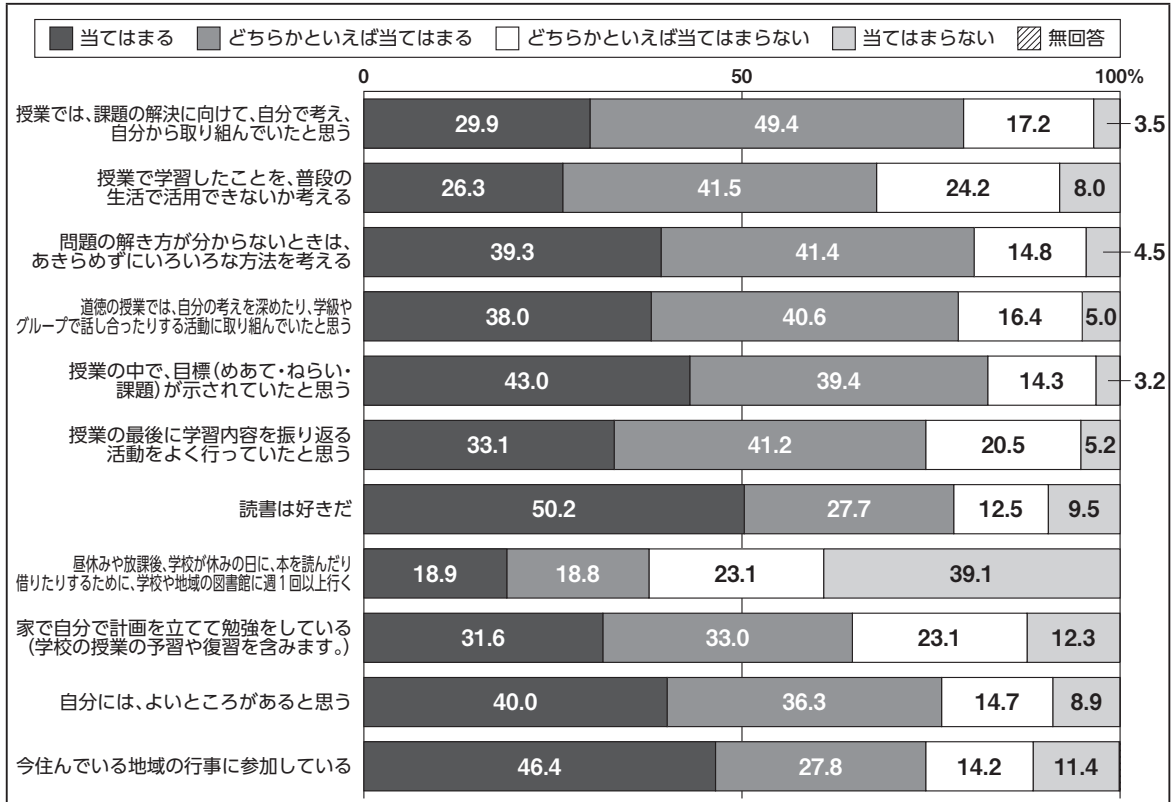


2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



3

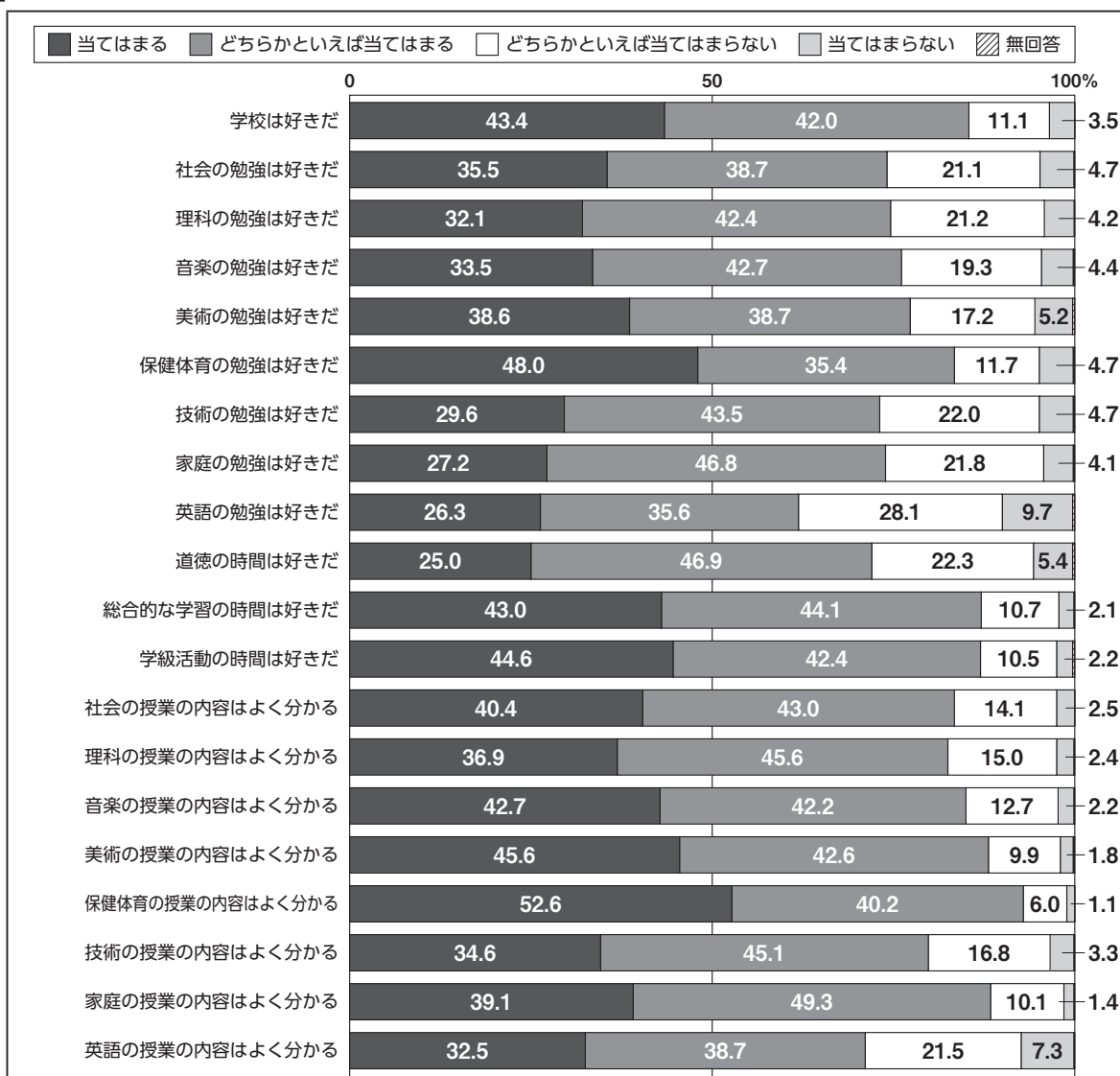
次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。



《中学校第3学年》 学校数（生徒数）：81校（2,269人）

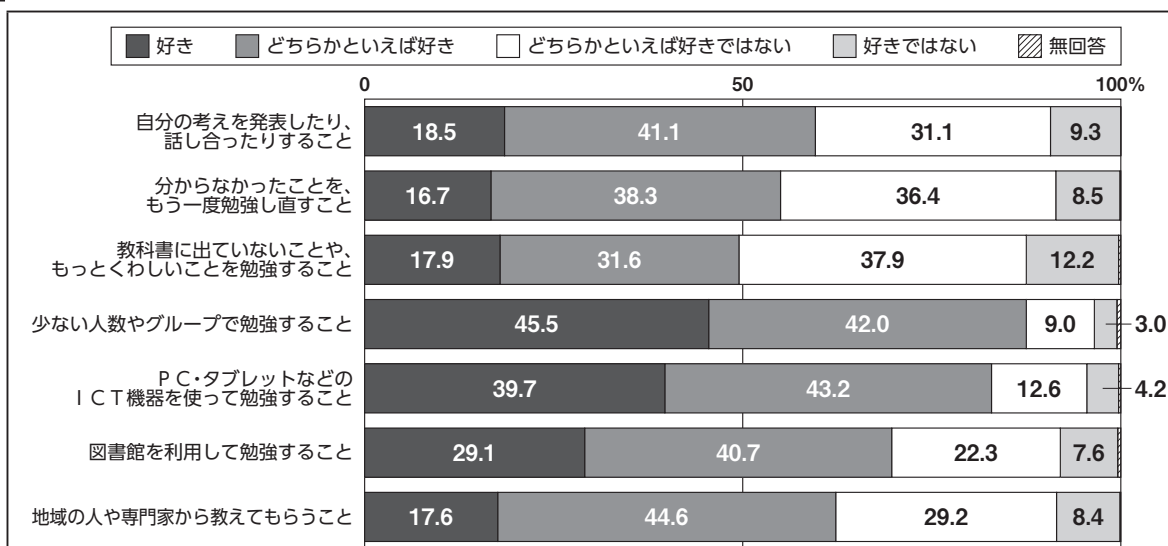
1

あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



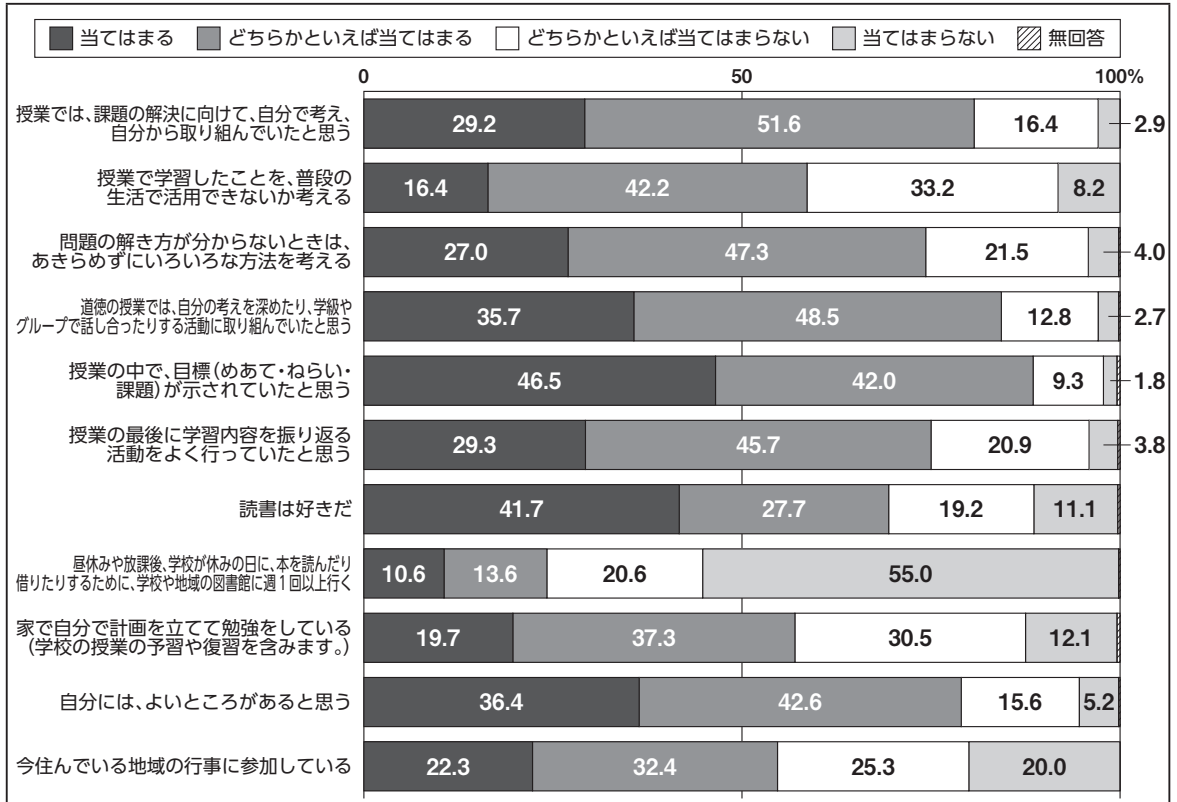
2

あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



3

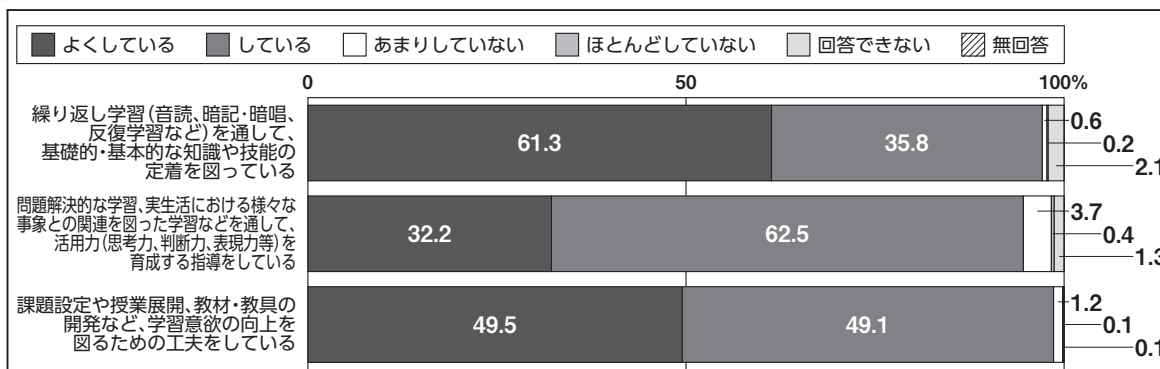
次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。



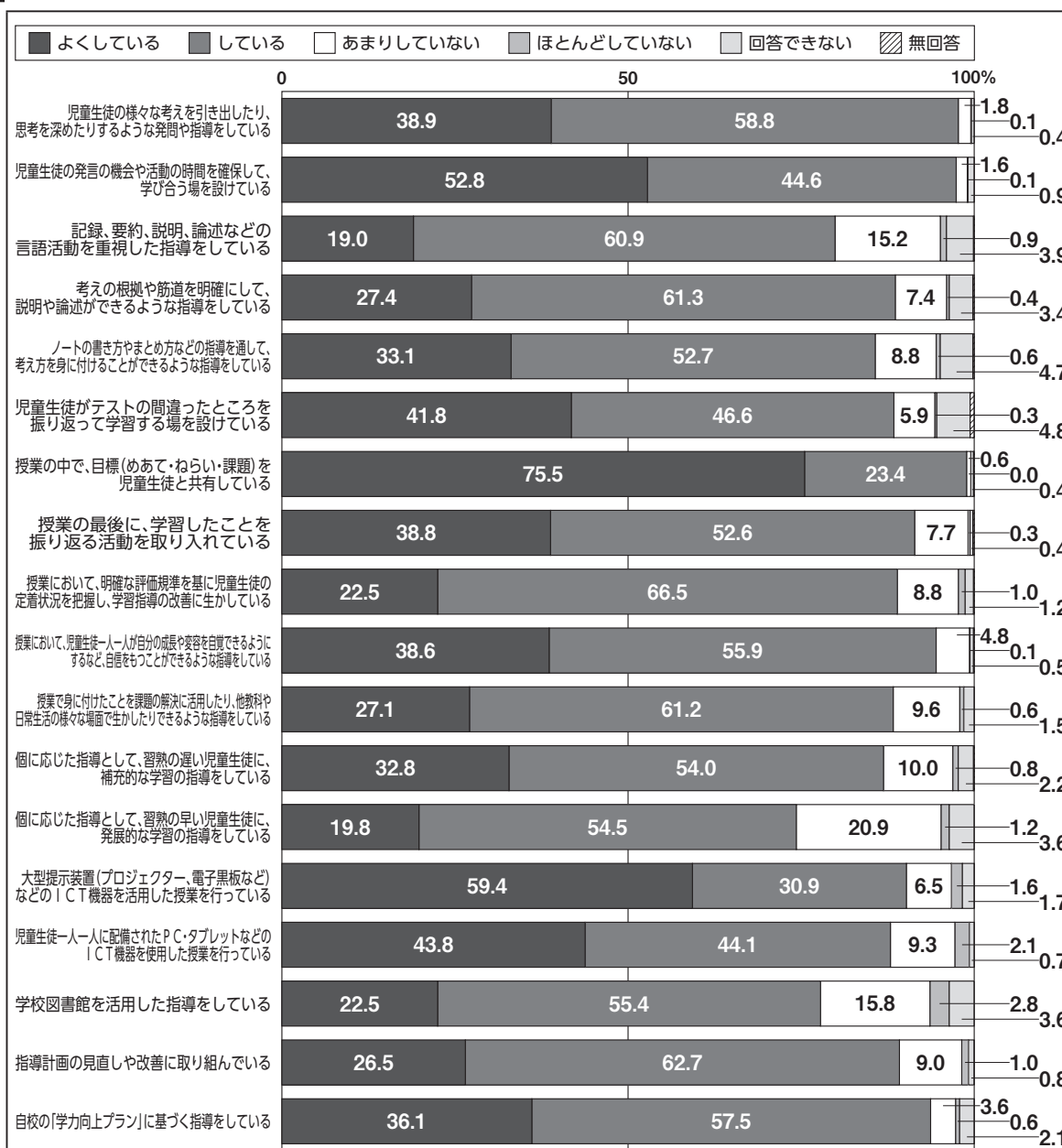
《小学校教員》 抽出校数（教員数）：66校（1,085人）

次の指導等を、昨年度からどの程度行っていますか。

1 学力の重要な要素に関すること

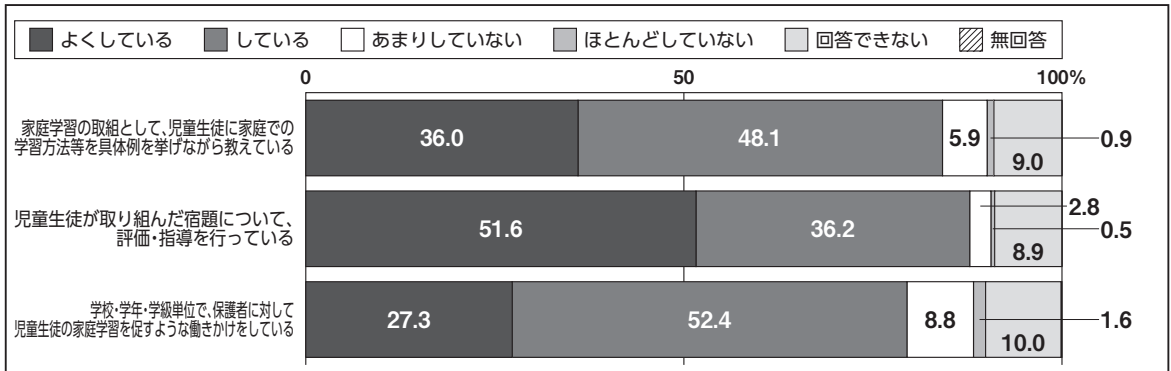


2 教科等に関すること



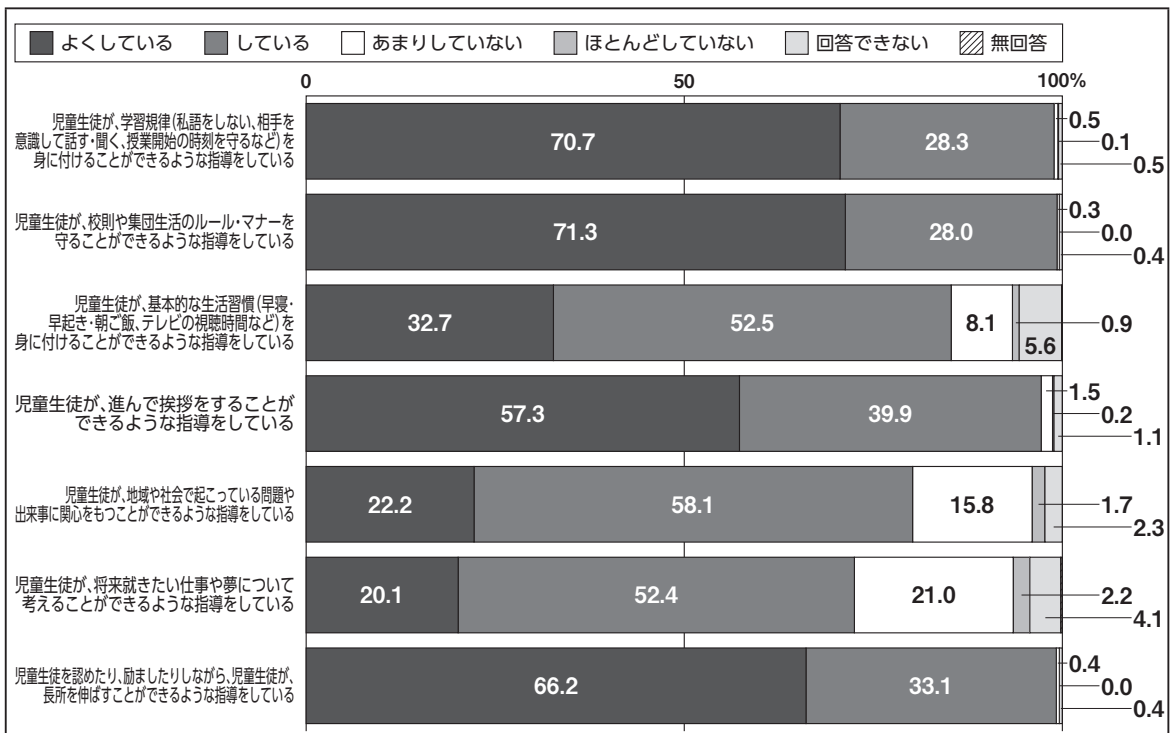
3

家庭学習に関すること



4

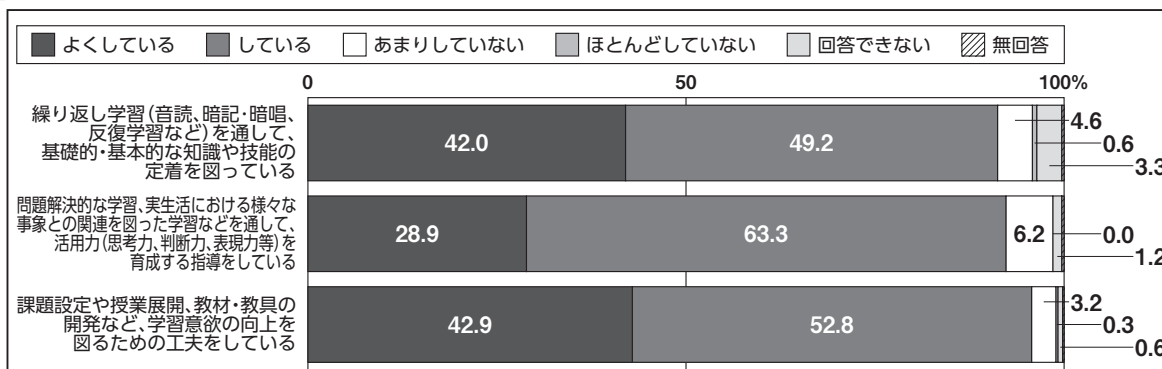
学習規律等に関すること



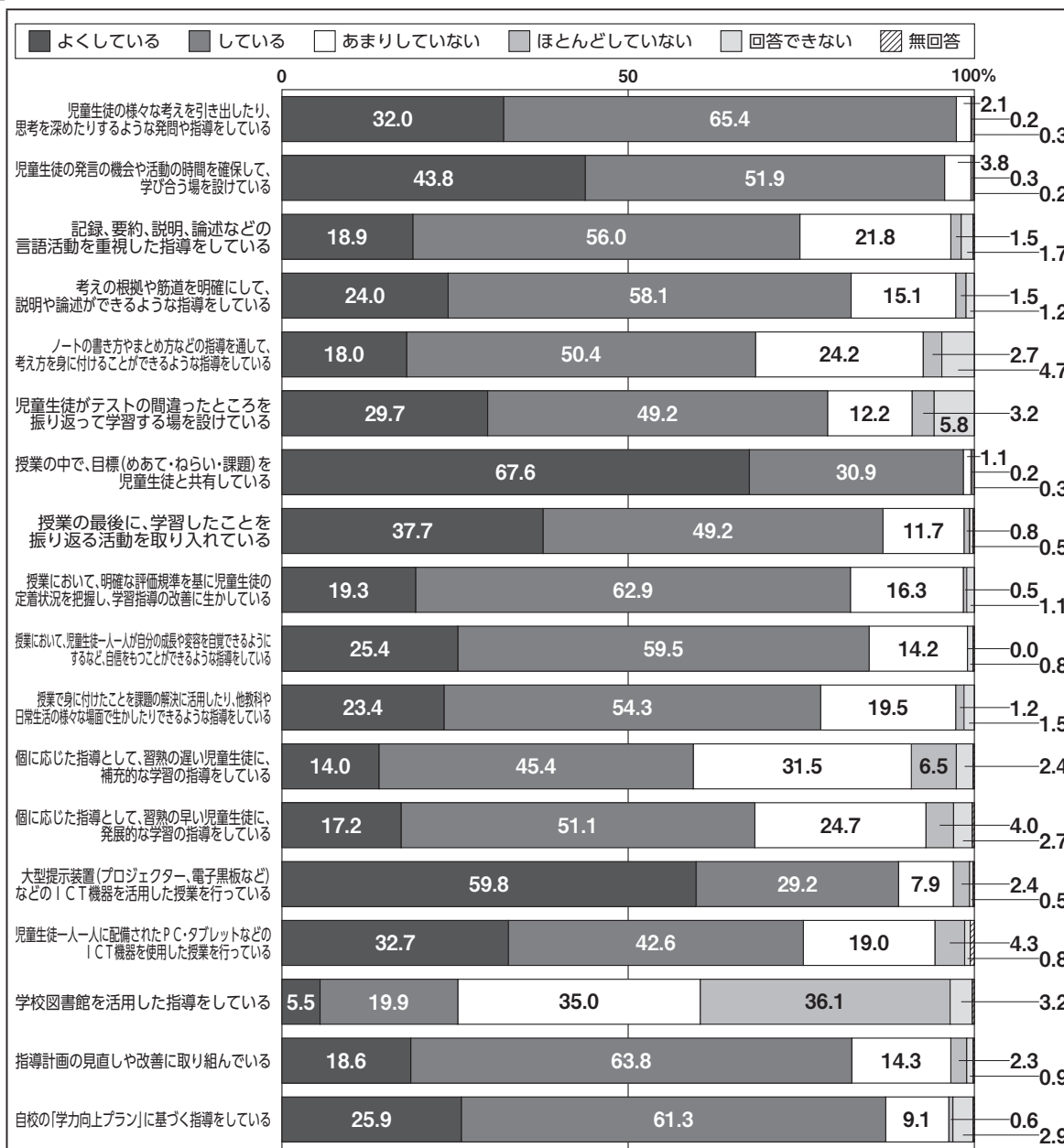
《中学校教員》 抽出校数（教員数）：30校（657人）

次の指導等を、昨年度からどの程度行っていますか。

1 学力の重要な要素に関すること

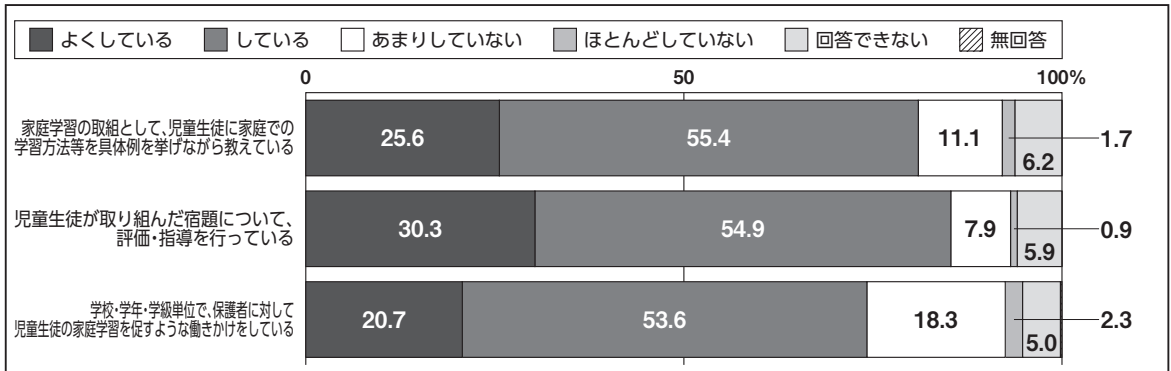


2 教科等に関すること



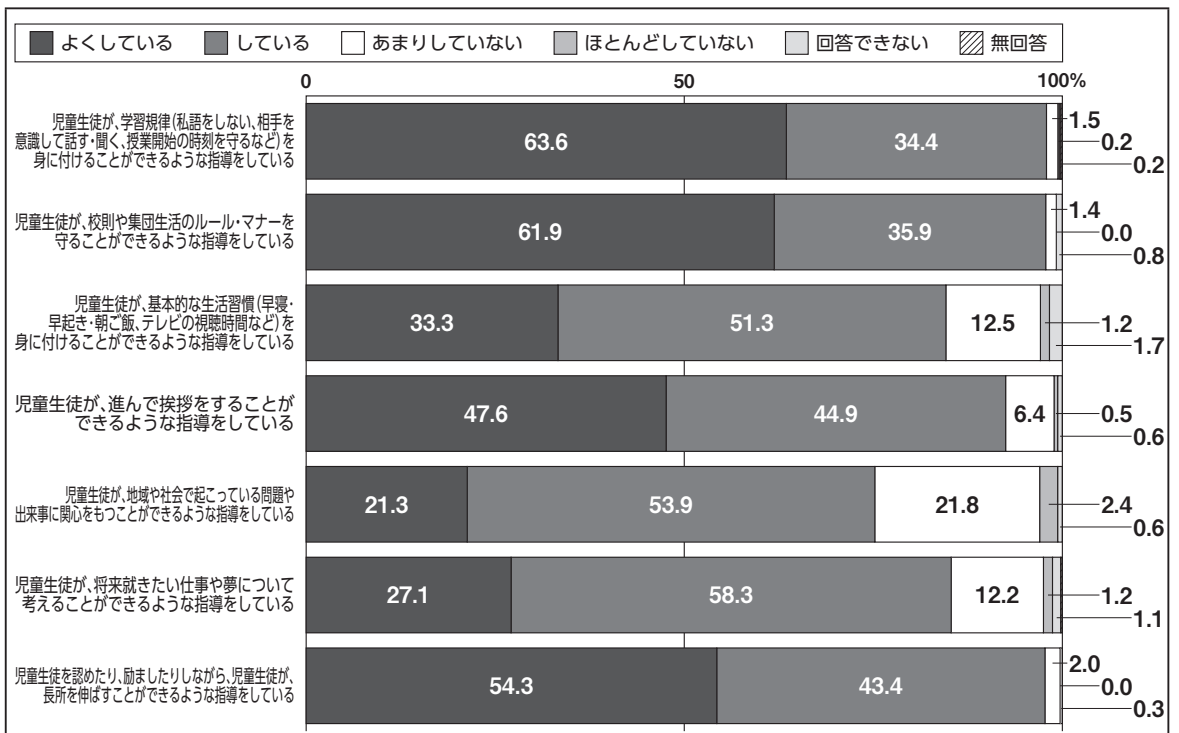
3

家庭学習に関すること



4

学習規律等に関すること



令和6年度

「基礎学力調査」—結果の概要—

令和6年7月発行

石川県教育委員会事務局学校指導課

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076-225-1827

e-mail : gakusi@pref.ishikawa.lg.jp